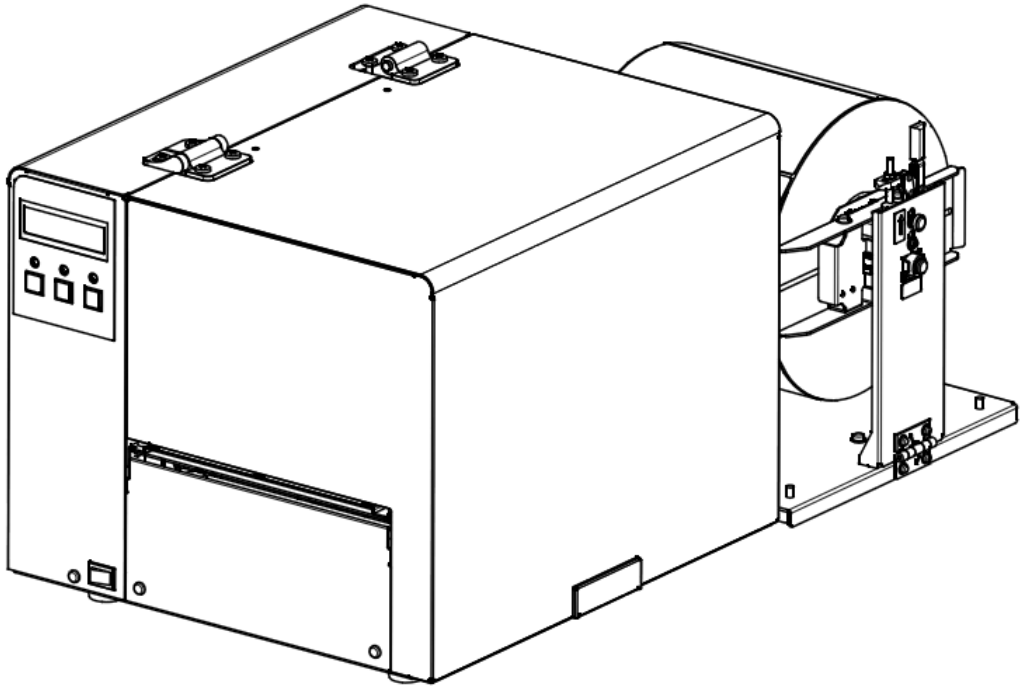
DCS & Labeling Worldwide

GHS612RⅢ

取扱説明書



サトー製プリンタには、サトーのサプライ製品 純正®のご使用をお願いします。

株式会社 サトー

目次

１．安全にお使いいただくために 4
２．同梱品の確認 7
３．各部の名称と働き 8
３－１）外観 8
３－２）各部詳細 9
３－２－１）プリンタ 9
３－２－２）ラベルホルダ 10
３－３）操作パネルと液晶表示 10
３－４）ブザー 11
３－５）製品外形 12
４．本機の準備 14
４－１）本機の設置 14
４－２）プリンタとラベルホルダの接続 15
４－３）パソコンとの接続 16
４－４）電源コードの接続 16
４－５）電源 ON 17
４－６）電源 OFF 17
４－７）リボン、ラベルの装着 17
５．プリンタ設定ツールとプリンタドライバのインストールと設定について 18
５－１）プリンタ設定ツールとプリンタドライバの入手について 18
５－２）プリンタ設定ツールのインストール手順について 18
５－３）プリンタドライバのインストール手順について 20
５－４）プリンタ設定ツールとプリンタドライバの設定について 27
６．ラベルの取り付け方 31
７．リボンの取り付け方、交換方法 36
８．反射・透過センサー出力値調整について 39
８－１）センサー出力適正値 39
８－２）センサー（反射、透過）とセンサー出力調整ボリュームの場所 40
８－３）センサー出力値の表示方法 41
８－４）反射センサー出力の調整方法 42
８－５）透過センサー出力の調整方法 42
９．カッタータイプ 43
９－１）各部の名称とはたらき 43

１０．　剥離タイプ 44
１０－１）各部の名称とはたらき 44
１０－２）用紙のセット 47
１０－３）ラベラーとの接続について（ラベラー担当技術者向け資料） 53
１１．　日常のお手入れ 58
１１－１）印字ブロック部の清掃について 62
１１－２）ラベル搬送部の清掃について 63
１１－３）剥離タイプの清掃について 64
１２．　困ったときは 65
１１－１）エラーメッセージとエラーブザーについて 65
１１－２）正しく動作しない場合 67
１３．　基本仕様 71
１４．アフターフォローについて 73

１． 安全にお使いいただくために

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずお読みください。

●プリンタを正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
●以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」です。











この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。











この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。





⚠警告


禁止

■指定以外の電圧は使用しない

- 指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

■内部に異物を入れない

- プリンタの開口部（ケーブルの出口やSDカートリッジ取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物や水が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■電源コードの取り扱いについて

- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 本プリンタに付属の電源コード、2極アダプタは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■落としたり、破損したときは

- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない

- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラーまたはサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。


禁止

■オプションケーブルやスキャナの接続について

- オプションのケーブルやスキャナをプリンタ本体へ接続する場合は、必ずプリンタやオプションの電源を切ってからおこなってください。電源をONにしたまま接続すると、オプション機器が突然動いてケガをしたり、感電するおそれがあります。


分解禁止

■分解しないでください

- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因になります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご依頼ください。


濡れ手禁止

■濡れた手で操作しない

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。


接触禁止

■カッタに手やものを入れない

- ケガをするおそれがあります。


アースを接続する

■必ずアース線を接続してください

- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。


火気厳禁

■プリンタ清掃液の取り扱い

- プリンタ清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対におこなわないでください。

⚠注意



■持ち運び

- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをするおそれがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタに指や手を挟まないように注意してください。

■電源コード

- 電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、差込みプラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合、芯線が露出や断線し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。

■サーマルヘッドの取り扱い

- サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをするおそれがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意してください。
- お客様によるサーマルヘッドの交換は、おこなわないでください。ケガ、火傷および感電のおそれがあります。

■ SD カードの取り扱い

- SD カードを落としたり、手で曲げたりして強い衝撃を与えないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 水に濡らさないでください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くに置かないでください。
- コネクタ部を直接触ったり、ゴミやホコリが入ったりしないようにしてください。記憶された内容が失われるおそれがあります。
- 高温多湿のところに保管しないでください。
- 静電気防止のため、輸送・保管時は必ずケースに入れてください。



■プリンタ清掃液の保存

- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

■持ち運び時のコードの扱い

- 移動されるときは、必ず電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。また、外部との接続線を外したことを確認してください。外さないまま移動すると、電源コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。



■サーマルヘッド（高温注意）

- 印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。用紙を交換するときや清掃するときは、火傷をしないように注意してください。



■長期間ご使用にならないとき

- プリンタをご使用にならないときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき

- プリンタのお手入れや清掃をするときは、安全のため電源コードの差込みプラグをコンセントから抜いてください。

２． 同梱品の確認

・プリンタ本体
・ラベルホルダ　　（別梱包）

・電源コード　　3 ピンタイプ



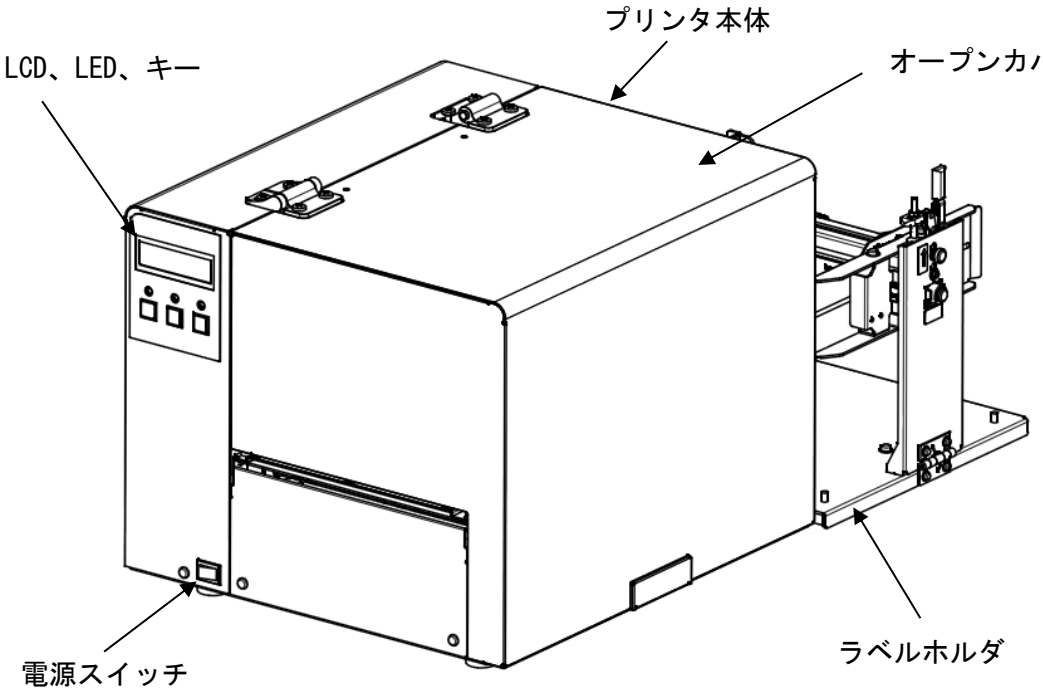
・USB ケーブル



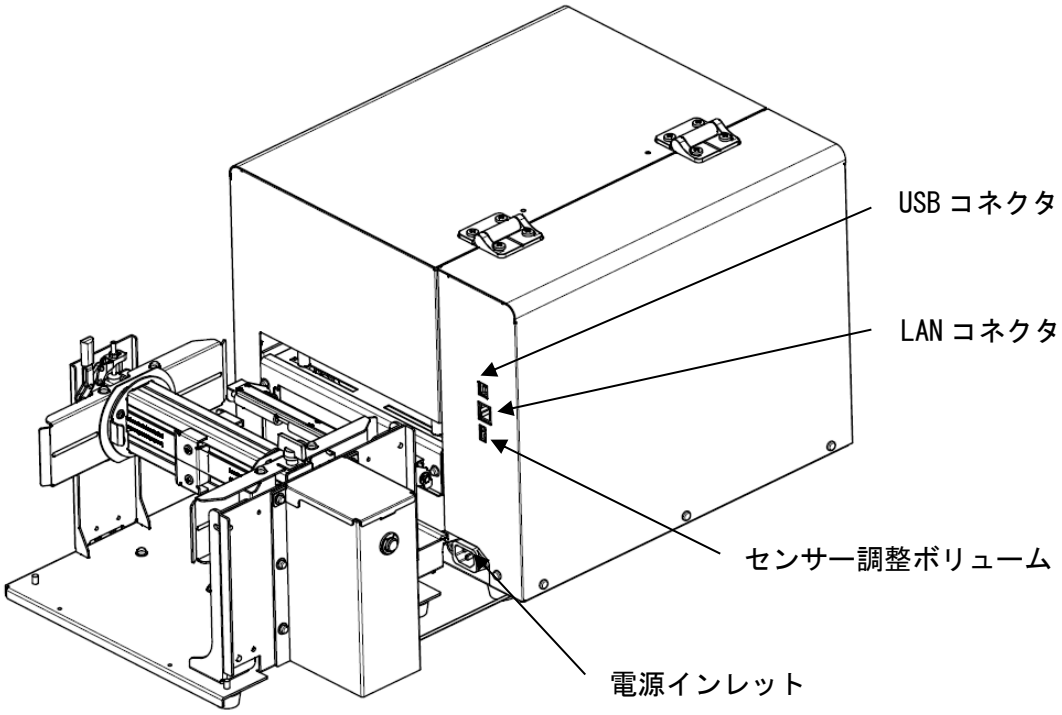
・取扱説明書
・設定ツール操作マニュアル
・安全上のご注意

３． 各部の名称と働き

３－１）外観



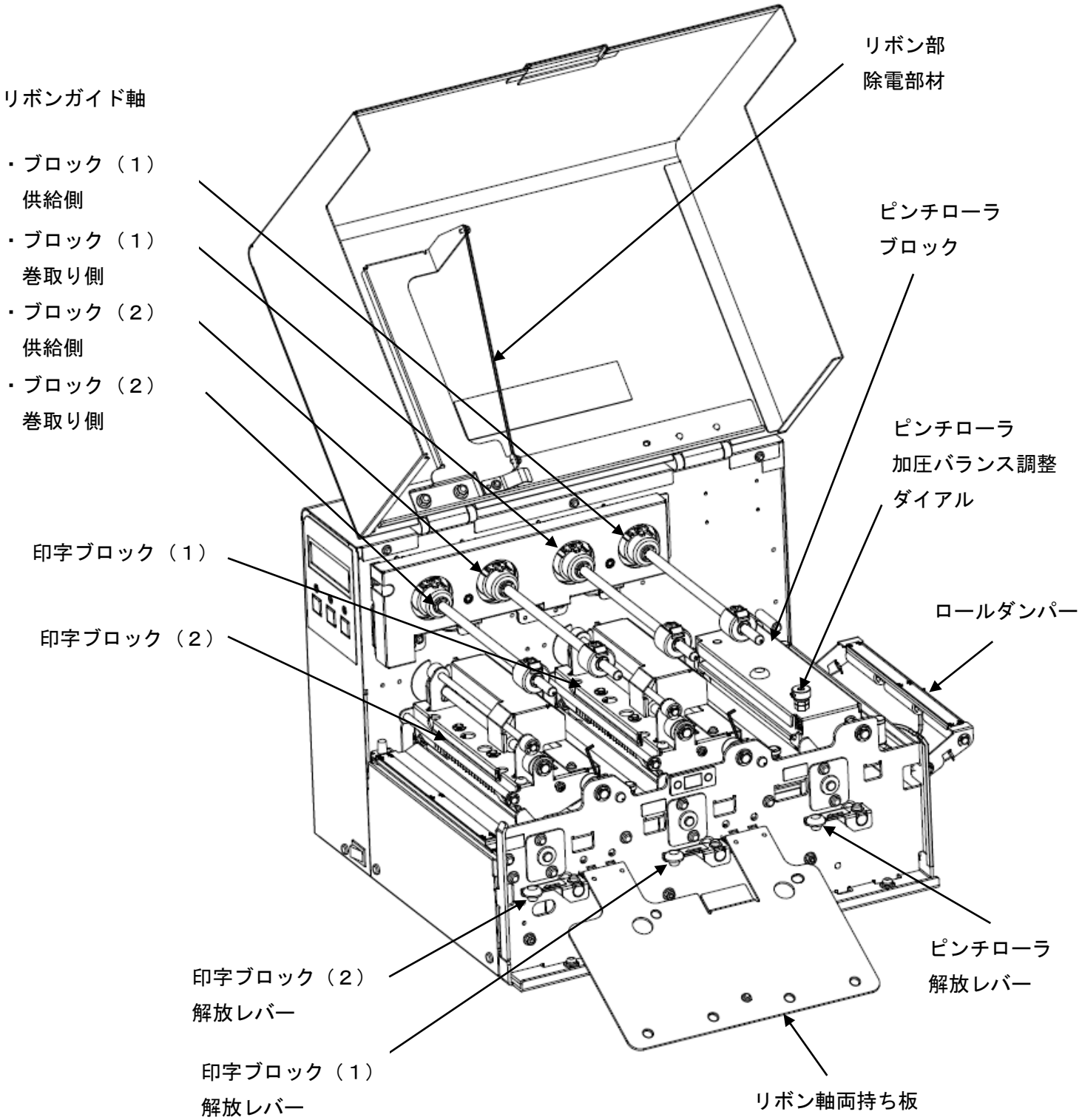
＜正面斜視図＞



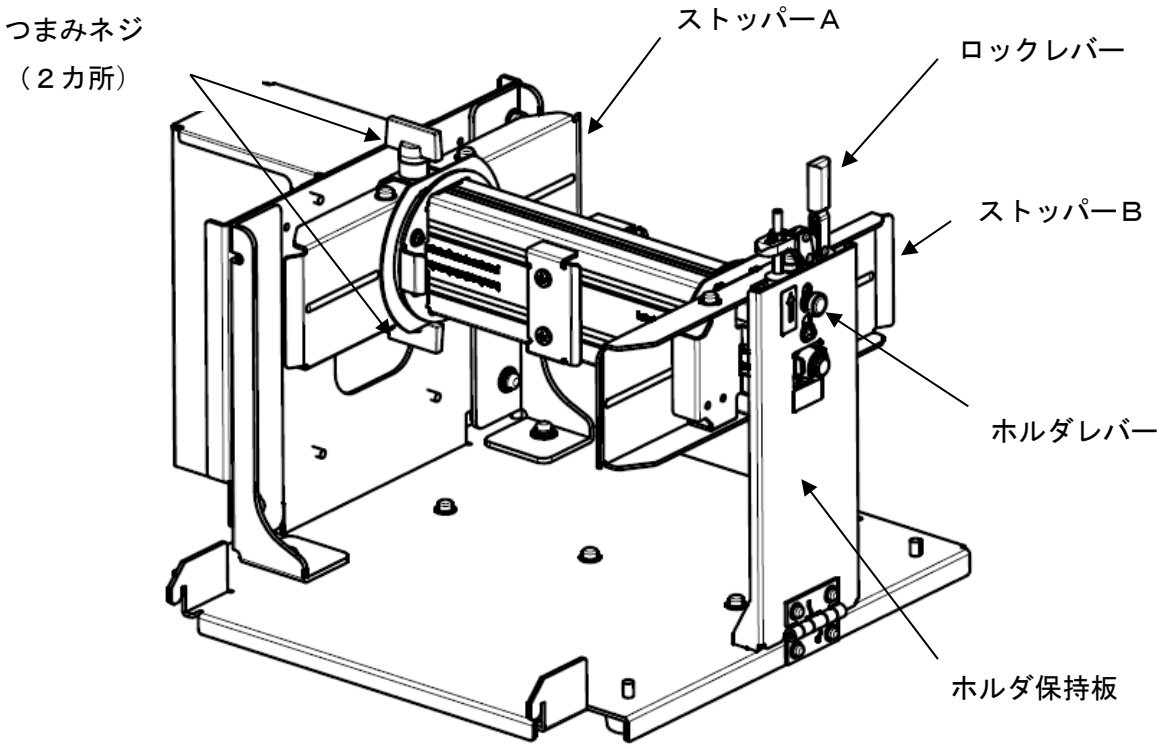
＜背面斜視図＞

３－２）各部詳細

３－２－１）プリンタ

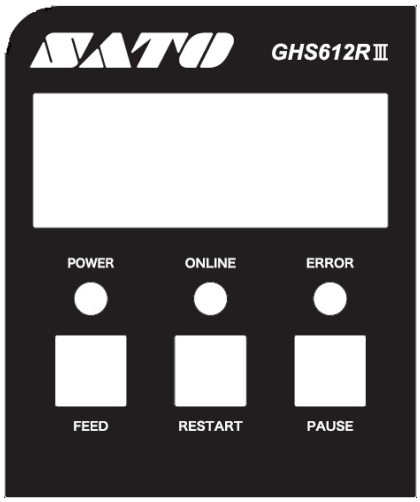


３－２－２）ラベルホルダ



３－３）操作パネルと液晶表示

３－３－１）操作パネル



液晶表示器（１６桁ｘ２行）
- バージョン表示
- エラー表示

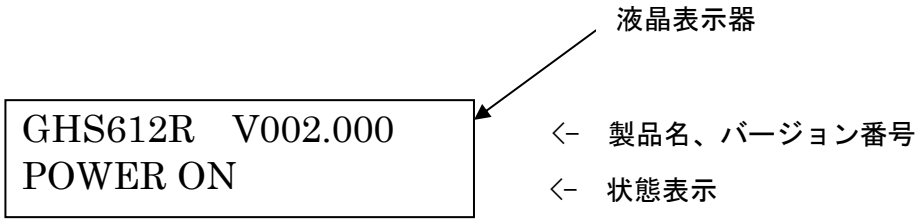
LED
- POWER　本機が電源ＯＮ中　点灯
- ONLINE　パソコンと
  通信可能時点灯
  PAUSE 時は消灯
- ERROR　エラー時点灯

PAUSE キー　：発行一時停止

RESTART キー　：PAUSE からの再発行、エラー解除

FEED キー　：ラベルを１枚搬送する時、又は１枚排出するとき

３－３－２）液晶表示内容



	状態表示	
1	POWER　ON	電源ＳＷをオンしたとき
2	ON　LINE	パソコンと通信可能状態
3	PAUSE	印字中断中
4	PAPER　JAM	ラベルがないか、又は正しくセットされていない状態
5	PAPER　END	ラベル搬送中にラベルがなくなった状態
6	RIBBON STOP	リボン軸が回転していない状態
7	HEAD OPEN	印字ブロックがオープン状態
8	RIBBON CUT	リボンが切れている（又はリボンが装着していない）状態
9	ON　LINE　１＊　　（２＊）	リボンが終了しそうな状態
10	FBLOCK OPEN	ピンチローラブロックがオープン状態
11	LAN COMM ERROR	LAN の通信エラーが起きたとき
12	DANSEN HEAD1　（HEAD2）	サーマルヘッドに断線がある状態
13	CUTTER OPEN	カッターの固定刃がロックされていない状態

３－４）ブザー

以下の時に、プリンタのブザーが鳴ります。

・電源ＯＮ時　　・・・　「ピッ」

・エラー発生時　　・・・　「ピッ、ピッ、ピッ」

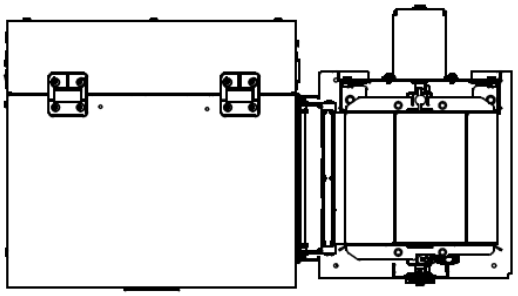
・通信エラー発生時　・・・　「ピー」（鳴り続けます）

※　エラー発生時は、液晶表示でエラー内容を確認して、処置してください。

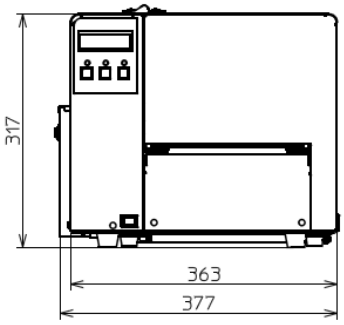
※　通信エラー発生時は、電源をオフしてください。

３－５）製品外形

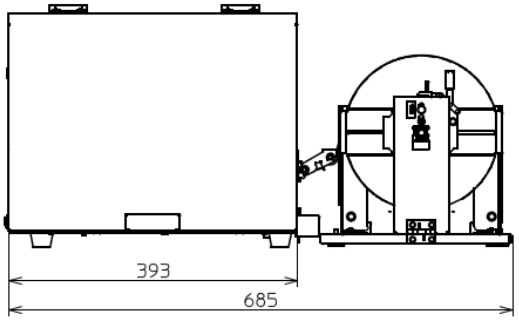
＜標準タイプ＞



＜上面＞

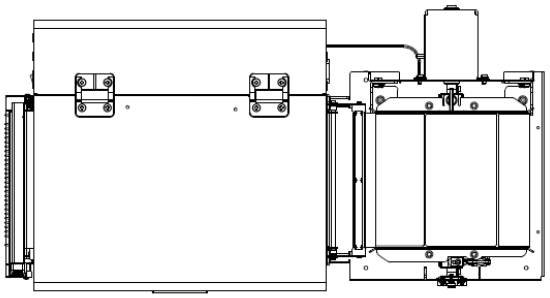


＜正面＞

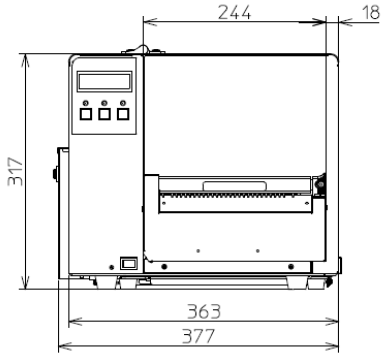


＜側面＞

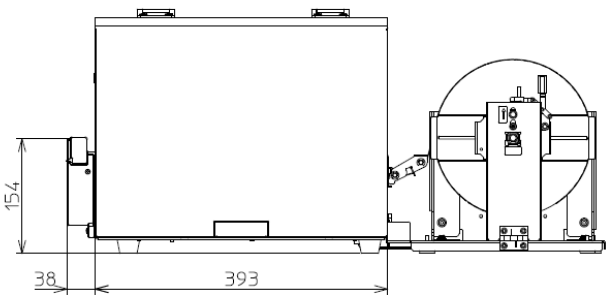
＜カッタータイプ＞



＜上面＞

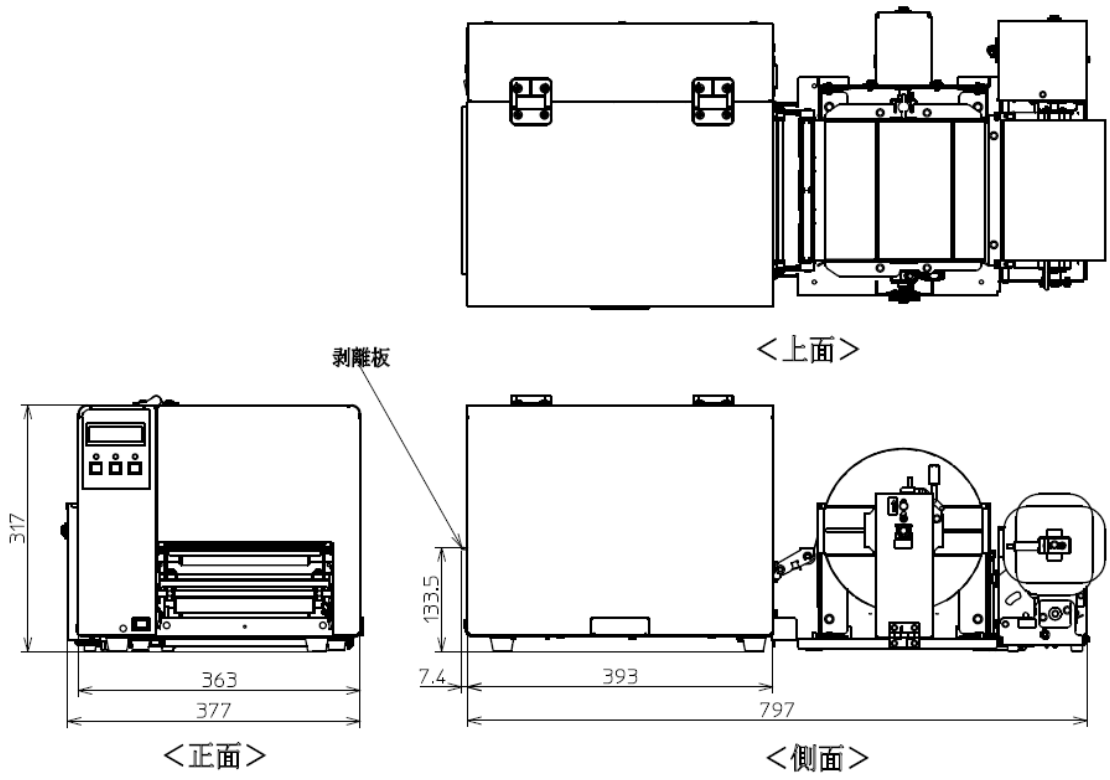


＜正面＞

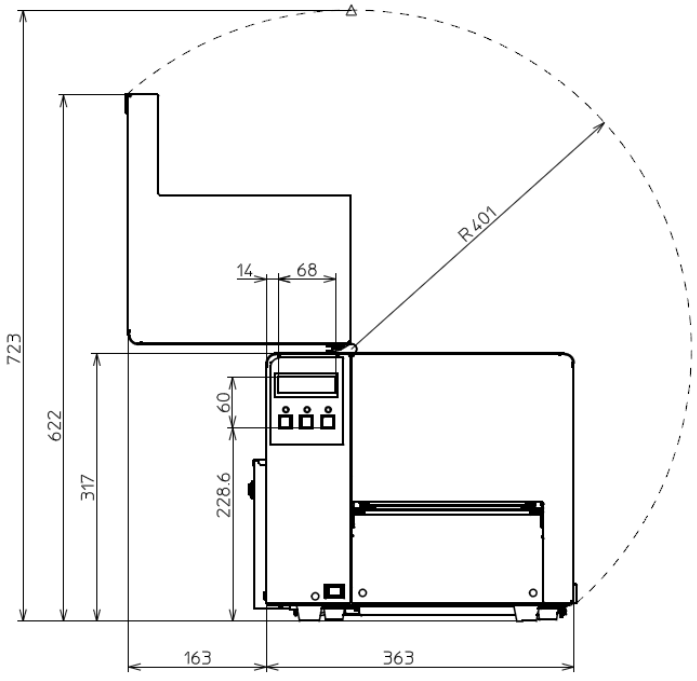


＜側面＞

＜剥離タイプ＞



＜カバーオープン時＞

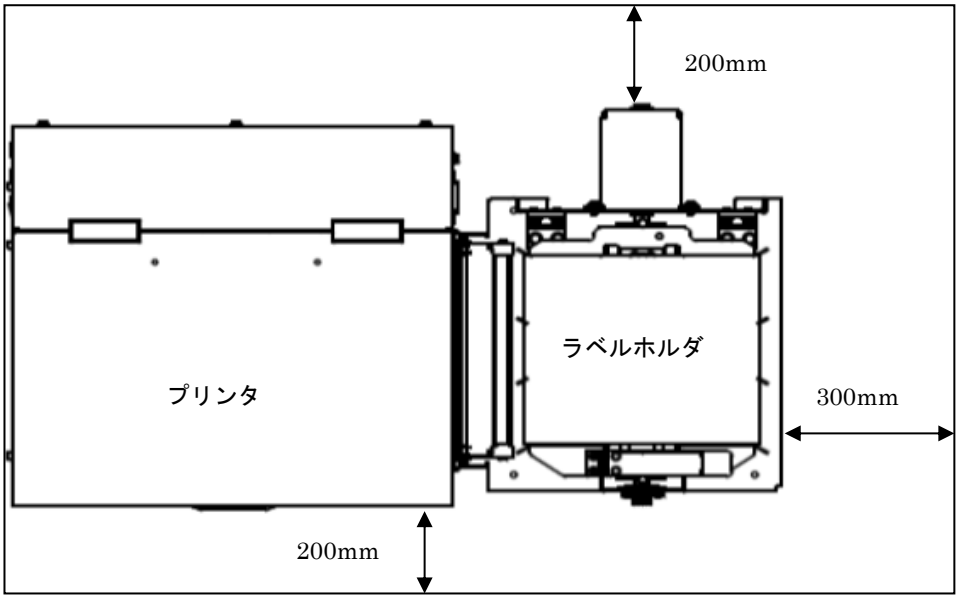


４． 本機の準備

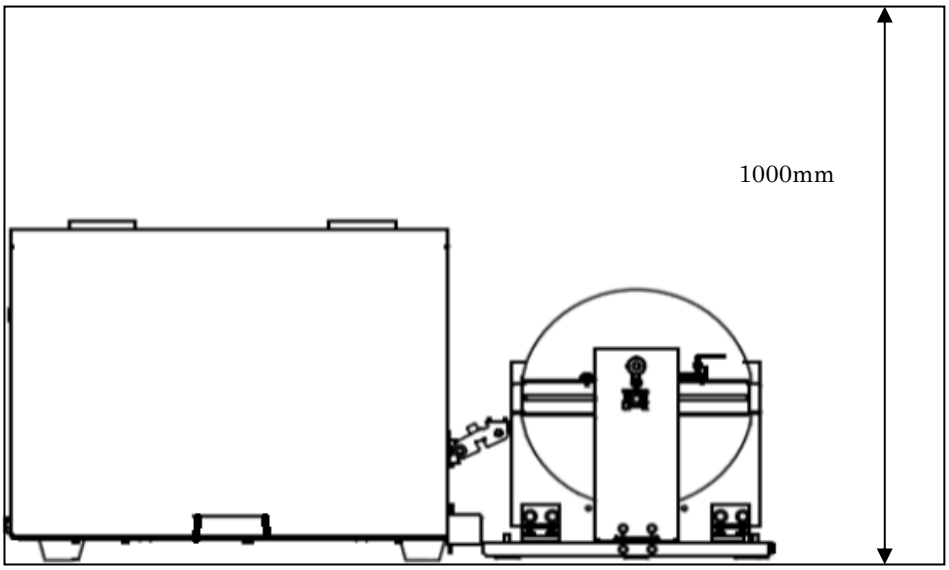
４－１）本機の設置

操作するために十分なスペースを確保し、風通しが良く平坦な場所に本機を設置して下さい。

［上から見た図］



［横から見た図］



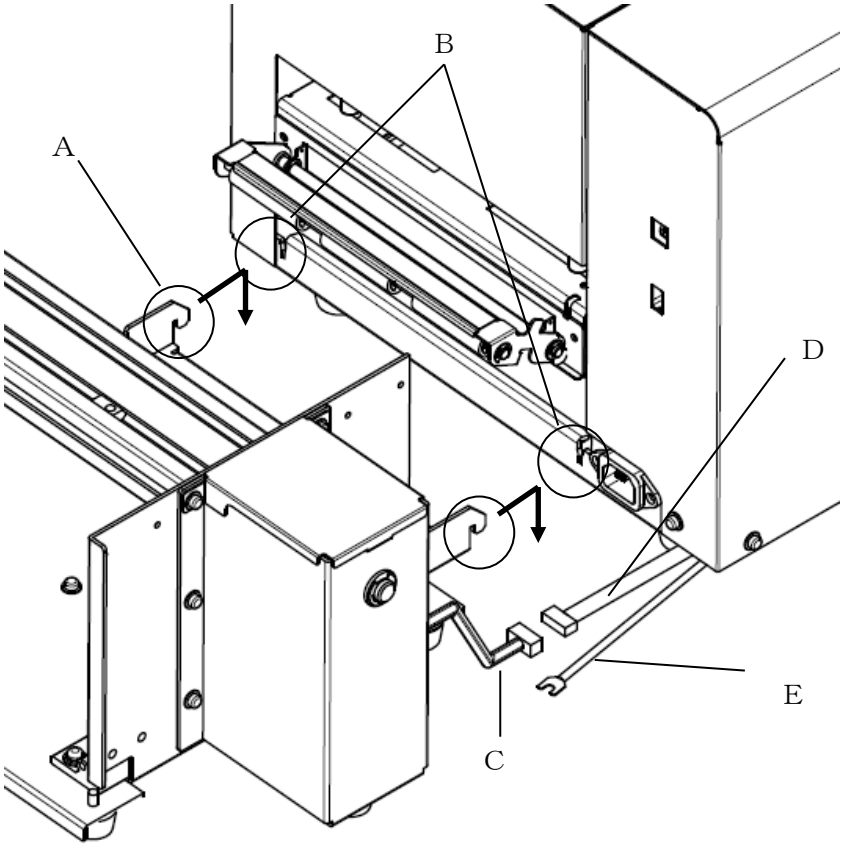
４－２）プリンタとラベルホルダの接続

４－２－１）ラベルホルダの、Ａで示す２カ所の爪を、プリンタ背面の　Ｂで示す２カ所の溝に、矢印のように差し込んで下さい。

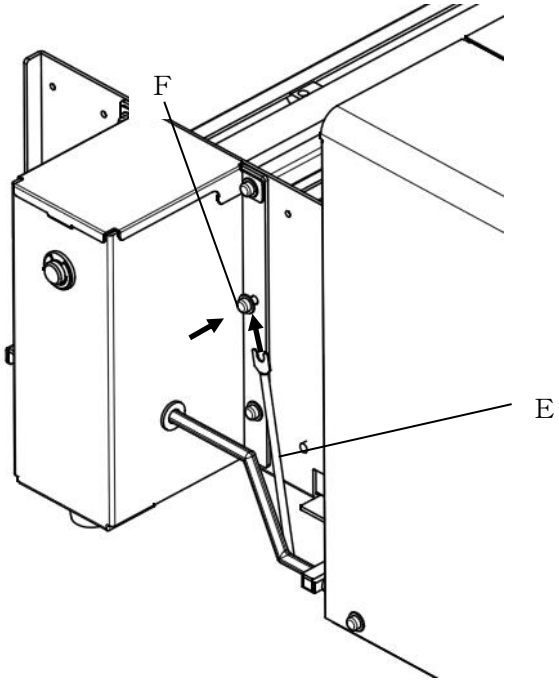
４－２－２）ラベルホルダから出ている　Ｃで示すコネクタと、プリンタ底面からでている　Ｄで示すコネクタを接続して下さい。

４－２－３）プリンタ底面からでている、Ｅ　で示す端子を、ラベルホルダのＦで示すネジを緩めてネジと板金の間に差込み、ネジを締めてください。

＜４－２－１)、４－２－２）　説明図＞



＜４－２－３）　説明図＞



４－３）パソコンとの接続

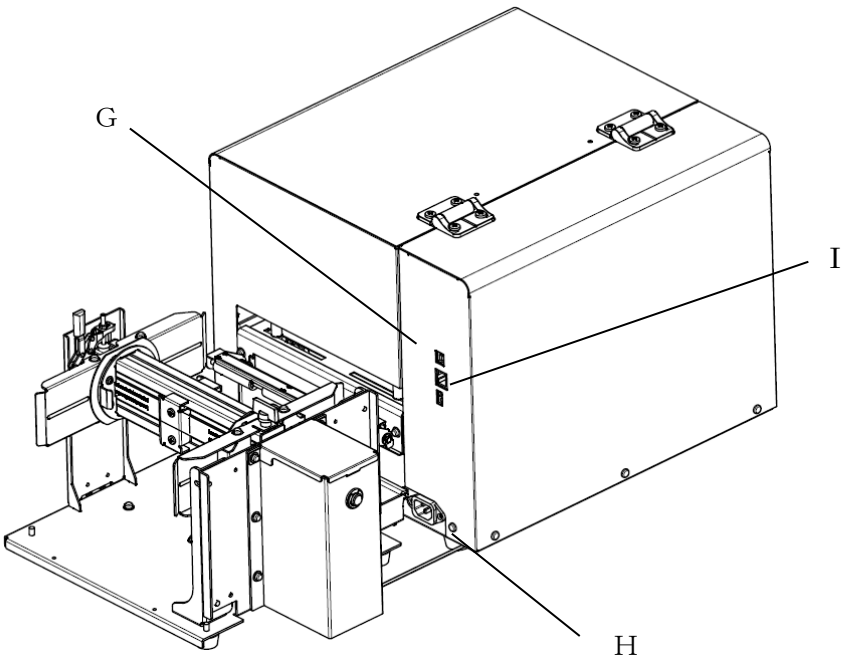
Ｇ　で示す、背面ＵＳＢコネクタにＵＳＢケーブルを接続して下さい。

Ｉ　で示す、背面ＬＡＮコネクタにＬＡＮケーブルを接続して下さい。

４－４）電源コードの接続

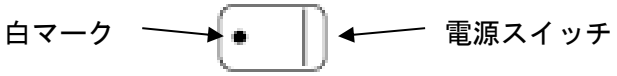
Ｈ　で示す、背面の電源インレットに、電源コードを接続して下さい。

（注意）電源コードの接続時は、<u>１．**安全にお使いいただくために**</u>、を守って下さい。



４－５）電源 ON

ラベルを正しくセットした後、３－１）外観に示す、電源スイッチを白マーク側に倒して下さい。



液晶表示器に下記、表示をします。

GHS612R　V002.000 POWER ON

　　バージョンによって表記が違います

LED は、「POWER」「ON　LINE」が 点灯します。

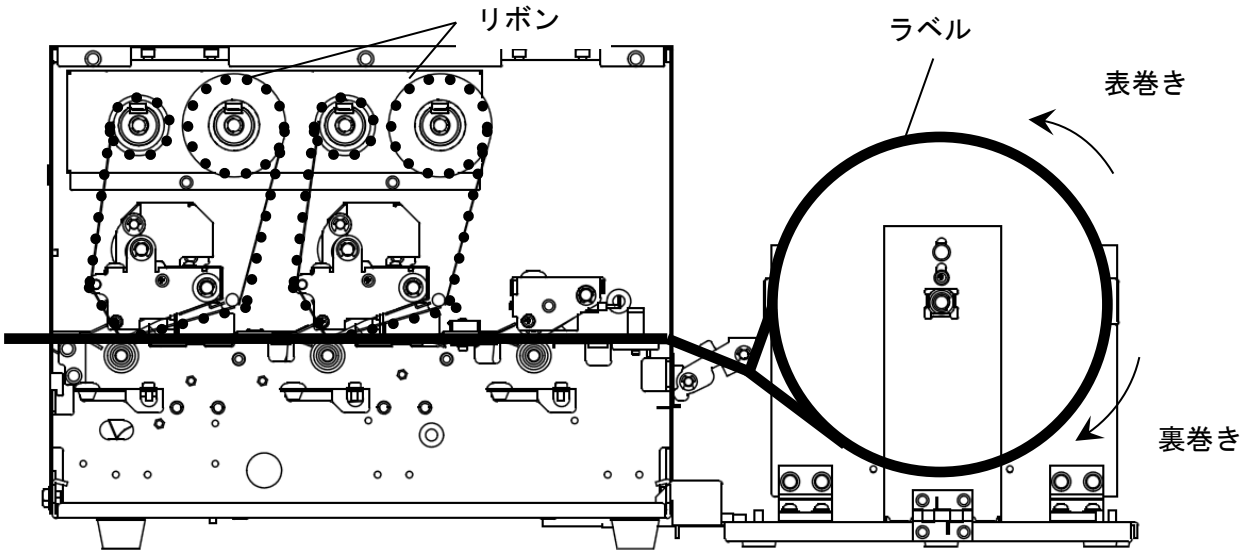
（注意）電源が入らなかったり、エラーメッセージが表示されたりした場合は、「１１．**困ったときは**」を参照下さい。

４－６）電源 OFF

３－１）外観に示す、電源スイッチを、白マークが無い側に倒して下さい。

４－７）リボン、ラベルの装着

リボン、ラベルの装着経路は下図の通りです。

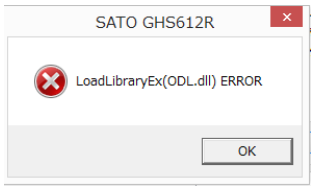


取付け方法は、６．**ラベルの取り付け方**、および、７．**リボンの取り付け方、交換方法**を参照して下さい。

５．　プリンタ設定ツールとプリンタドライバのインストールと設定について

ＧＨＳ６１２Ｒプリンタで印字するためには、パソコンにＧＨＳ６１２Ｒ用のプリンタ設定ツールとプリンタドライバをインストールする必要があります。

（注）プリンタ設定ツールが未インストール状態で、印刷を実行すると次のエラーメッセージが画面に表示されます。

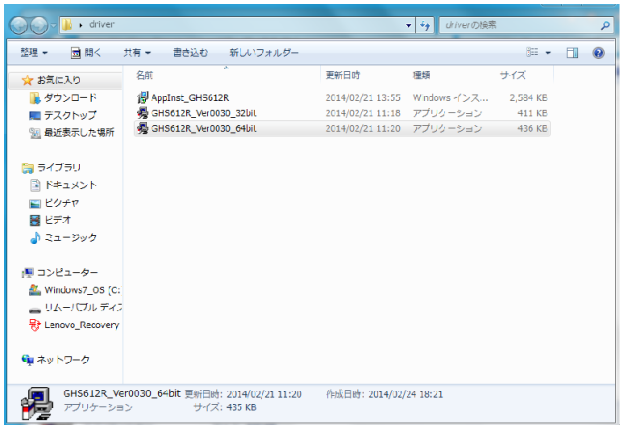


５－１）プリンタ設定ツールとプリンタドライバの入手について

https://www.sato.co.jp/support/printer/ghs612r/

よりプリンタ設定ツールとプリンタドライバをダウンロードして下さい。

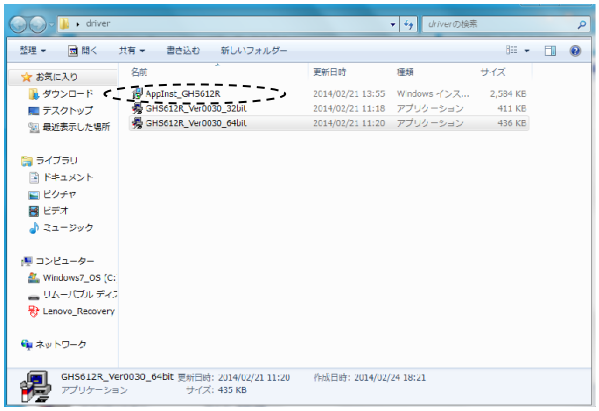
例） デスクトップの driver というフォルダにダウンロードしたときの内容です。



５－２）プリンタ設定ツールのインストール手順について

プリンタ設定ツールは、以下の手順でインストールして下さい。

イ）ダウンロードしたフォルダの中の AppInst_GHS612R_VXXX というインストーラをダブルクリックして下さい。



ロ）次の画面が表示されますので、“次へ（N）”をクリックして下さい。



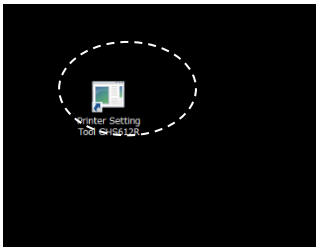
ハ）続いて次の画面が表示されますので、“インストール（I）”をクリックして下さい。



ニ）続いて次の画面が表示されますので、“完了（F）”をクリックして下さい。



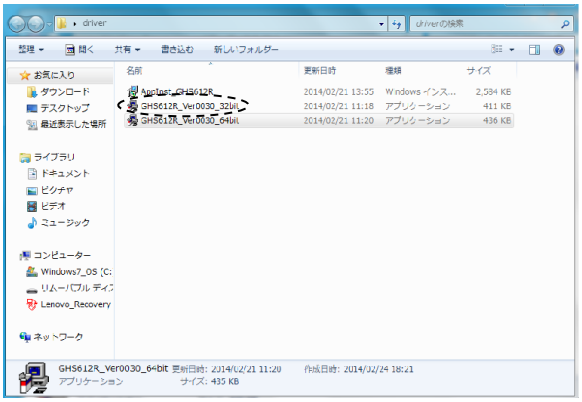
ホ）デスクトップに「Printer_SettingTool GHS612R」のショートカットが表示されたら正しくインストールが終了しています。



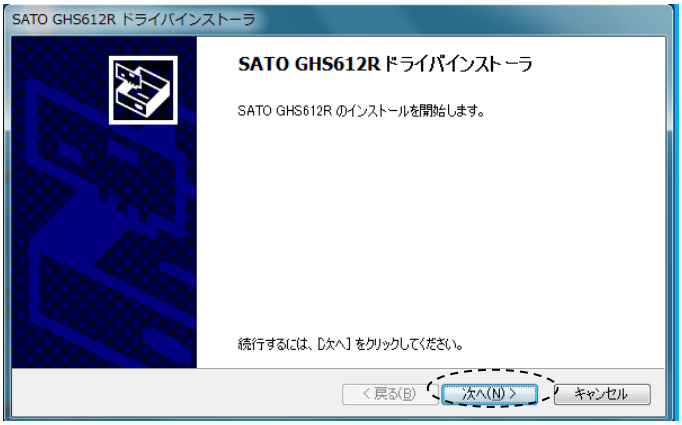
５－３）プリンタドライバのインストール手順について

プリンタドライバは次の手順でインストールして下さい。

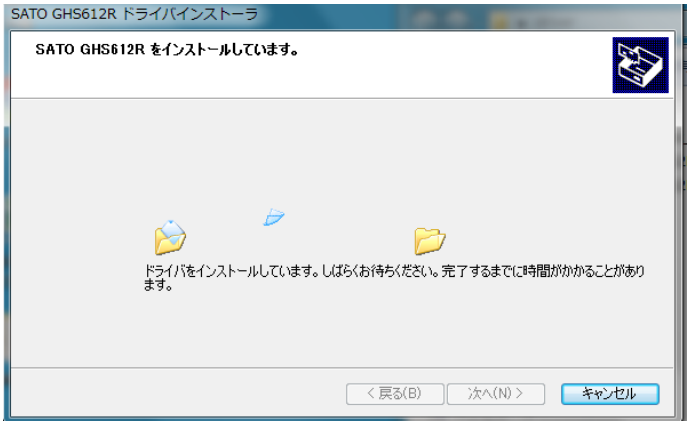
イ）ダウンロードしたフォルダの中の GHS612R_driver_XXXX_64bit というインストーラを
ダブルクリックして下さい(64bit の場合)。XXXX:バージョン No
（32bit の場合は、GHS612R_driver_XXXX_32bit）



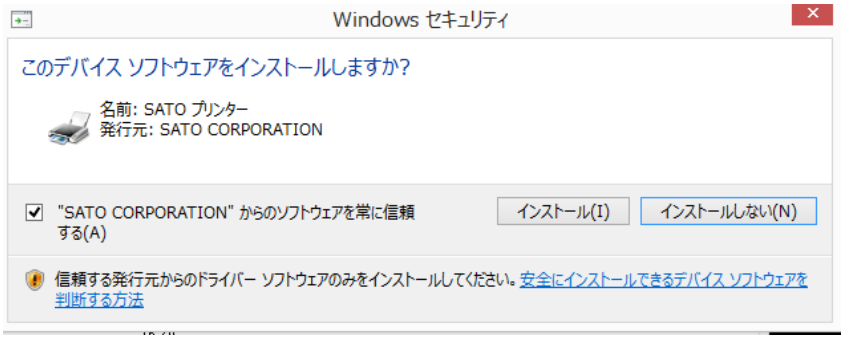
ロ）次の画面が表示されるので、“次へ（N）”をクリックして下さい。



ハ）ドライバのインストール中の画面が表示されます。



ニ）署名の確認のために Windows により次の画面が表示される場合があります。
“インストール（Ｉ）”をクリックして下さい。



ホ）インストールの終了画面が表示されますので、“完了”をクリックして下さい。



ヘ）ＵＳＢ通信のみで印字する場合は、プリンタの電源をオンしてパソコンとＵＳＢケーブルで接続をして下さい。デバイスとプリンタ画面でＳＡＴＯ　ＧＨＳ６１２Ｒプリンタが表示されていることをご確認下さい。

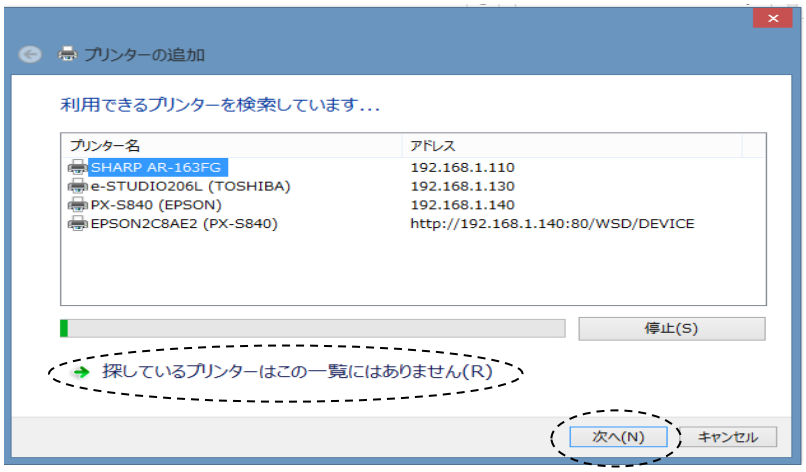


ト）さらにＬＡＮ通信で印字する場合は、次の操作をしてＬＡＮ通信用のプリンタを追加して下さい。

① デバイスとプリンタの画面で“プリンターの追加”をクリックして下さい。



② 次の画面が表示されるので、“探しているプリンターはこの一覧にはありません（R）”を選び、“次へ（N）”をクリックして下さい。



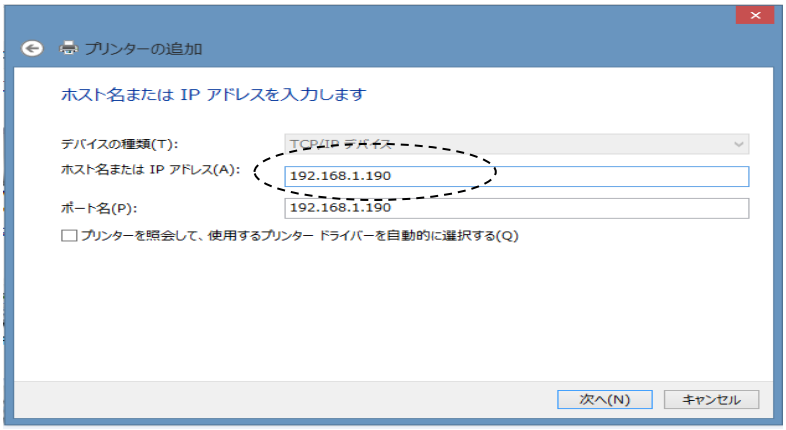
③ 次の画面が表示されるので“ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する（O）”を選び、“次へ（N）”をクリックして下さい。



④　次の画面が表示されるので、“新しいポートの作成（C）”とポートの種類のダイアログの中から“Standard TCP/IP PORT”を選び、“次へ（N）”をクリックして下さい。



⑤　次の画面が表示されるので、ＩＰアドレスを入力して、“次へ（N）”をクリックして下さい。



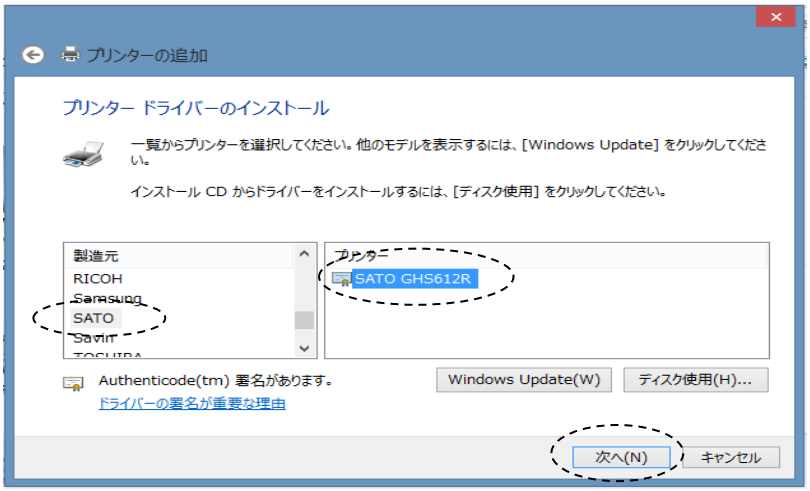
⑥　しばらく、次の画面が表示されたままになります。自動的に次の画面に切り替わるので、待って下さい。



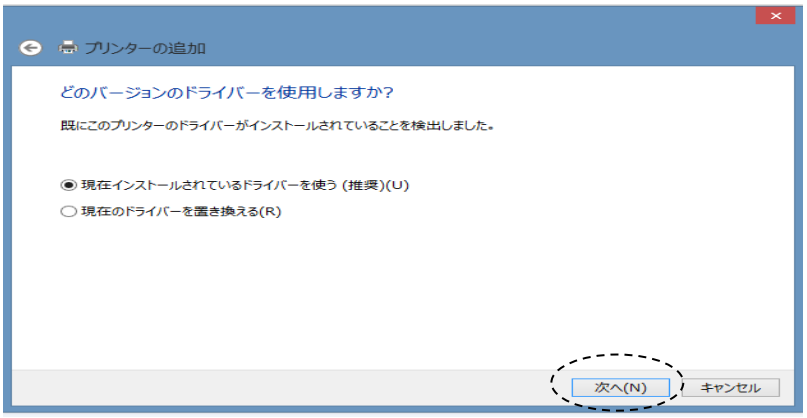
⑦　次の画面に切替わったら“次へ（N）”をクリックして下さい。



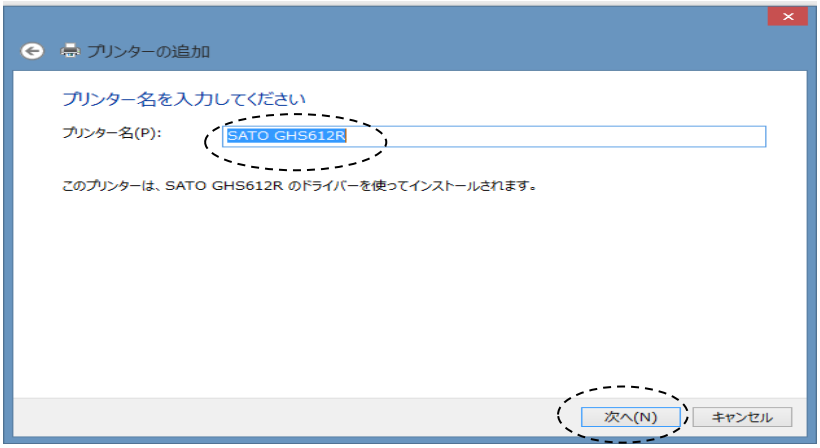
⑧　次の画面が表示されるので、製造元として“ＳＡＴＯ”、プリンターとして“ＳＡＴＯＧＨＳ６１２Ｒ”を選択し、“次へ（N）”をクリックして下さい。



⑨　次の画面が表示されるので“次へ（N）”をクリックして下さい。



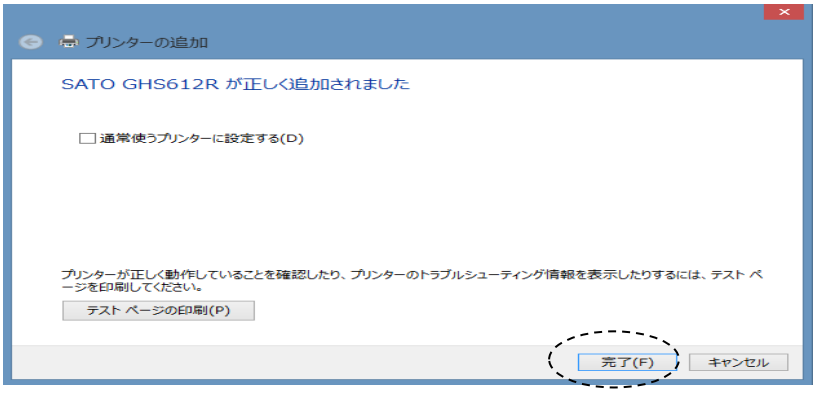
⑩　次の画面が表示されるので、プリンター名を入力後、“次へ（N）”をクリックして下さい。



⑪　次の画面が表示されるので、“次へ（N）”をクリックして下さい。



⑫　次の画面が表示されるので、“完了（F）”をクリックして下さい。



⑬　次の画面が表示されますので、プリンターが登録されていることを
ご確認下さい。



５－４）プリンタ設定ツールとプリンタドライバの設定について
プリンタ設定ツールによるプリンタ本体への設定とプリンタドライバ側の設定があります。

（注１）プリンタドライバ側の設定は、必ず実施して下さい。
（注２）プリンタ本体の濃度設定は、機体ごとに調整が必要です。
ご使用の条件（ラベル種、リボン種、印字スピード等）にて印字を確認頂き、最適となる濃度をプリンタ設定ツールにて設定してご使用下さい。

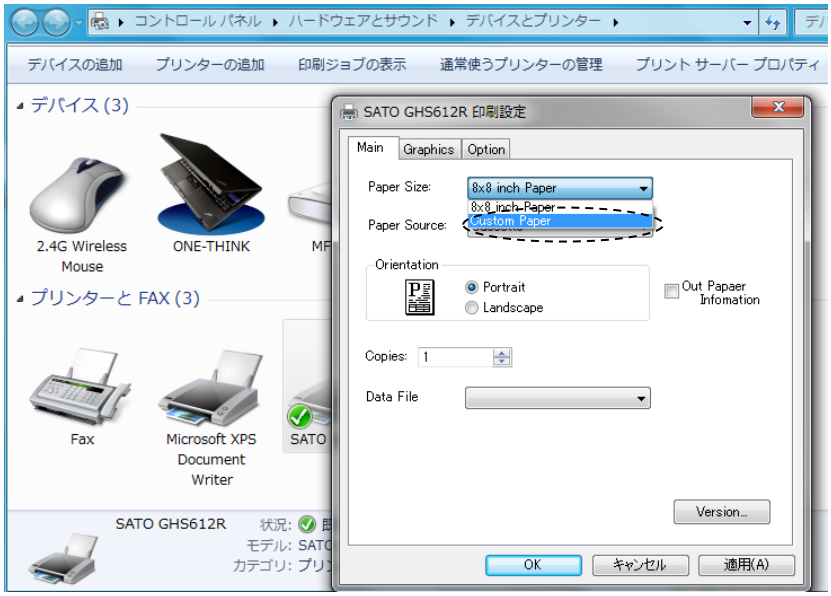
５－４－１）プリンタ設定ツールの設定については、“ＧＨＳ６１２Ｒ　プリンタ設定ツール操作マニュアル”を参照して下さい。

５－４－２）プリンタドライバの設定については、次の手順で設定して下さい。

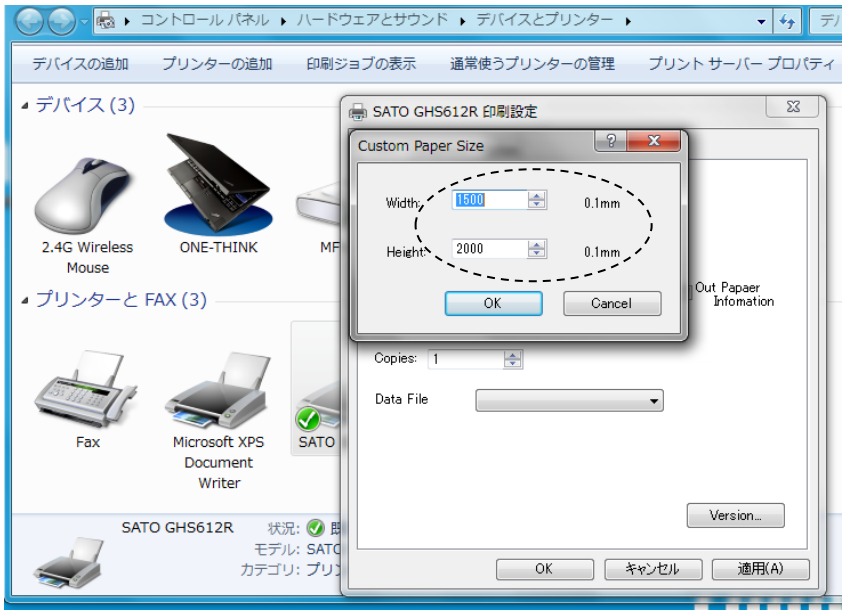
イ）デバイスとプリンタの画面で SATO GHS612R プリンタを右クリックして下さい。
次の画面を表示するので、“印刷設定（G）”を選択して下さい。



ロ）印刷設定画面で Paper Size プルダウンメニューから“Custom Paper”を選択して下さい。



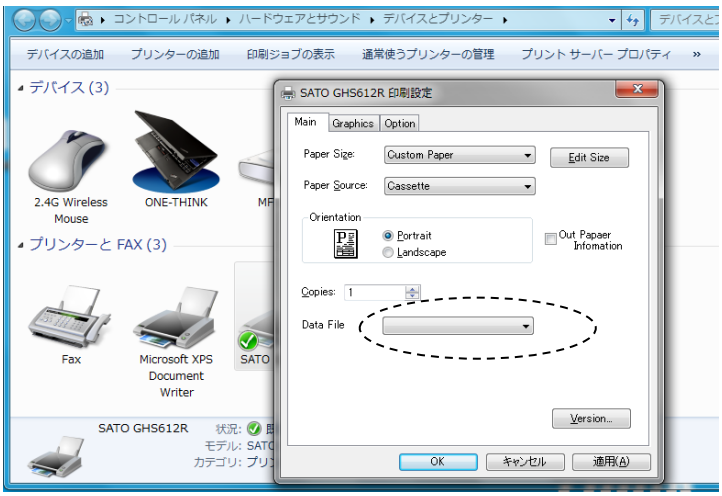
ハ）続いて下記表示が現れるので、使用するラベルのサイズを入力して“ＯＫ”をクリックして下さい。



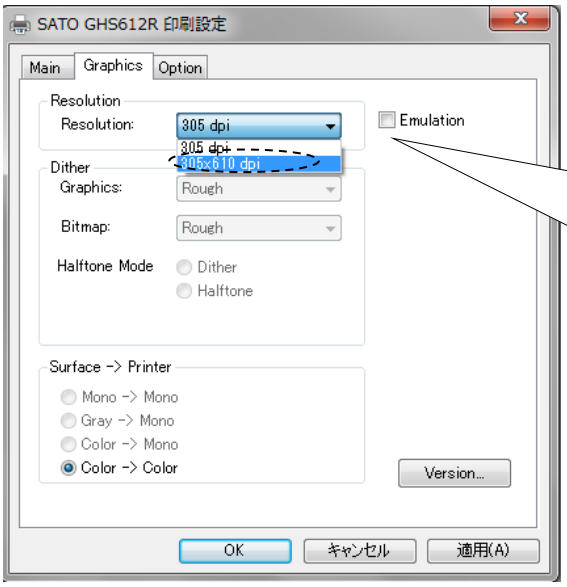
ニ）プリンタ設定ファイルの指定

（注）プリンタ設定ファイルとは、プリンタ設定ツールで作成し保存した設定ファイルです。
指定すると印刷時、毎回、プリンタへ指定された設定ファイルを送信し、その設定に従って印字します。（この時、プリンタ本体の設定値は、指定された設定ファイルの設定値に書き換わっています。）
指定しない場合は、その時点のプリンタが記憶している設定値に従って印字します。

Data File のプルダウンメニューをクリックすると保存されている設定ファイルが表示されるので、その中から指定したい設定ファイルを選択し、“ＯＫ”をクリックして下さい。
（プルダウンメニューに設定ファイルがない場合は、設定ファイルが未登録です。）



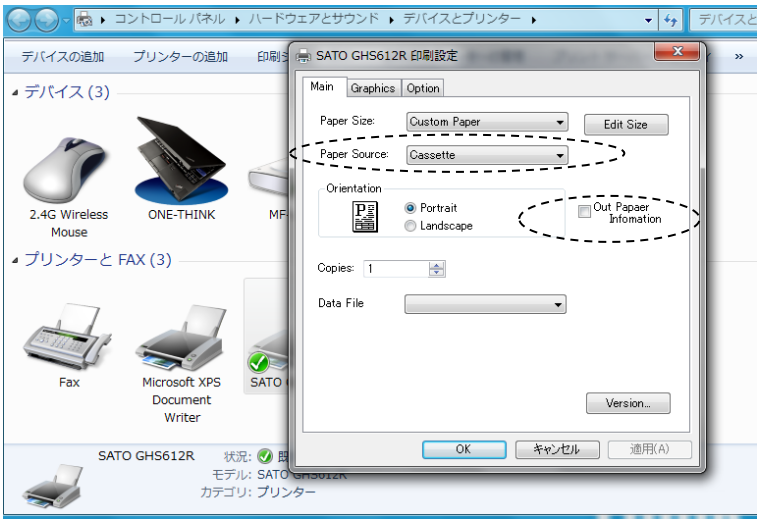
ホ）解像度を擬似 600dpi にする場合は、Graphics を選択して、Resolution のプルダウンメニューをクリックし“305x610 dpi”を選択して下さい。



発行ソフトによっては、305x610dpi の設定にすると正しく印字されない場合があります。
この場合は、Emulation チェックボックスにチェックを入れて下さい。

へ）プリンタドライバで以下の箇所は変更しないで下さい。

・Main の　Paper Source と Out Paper Information



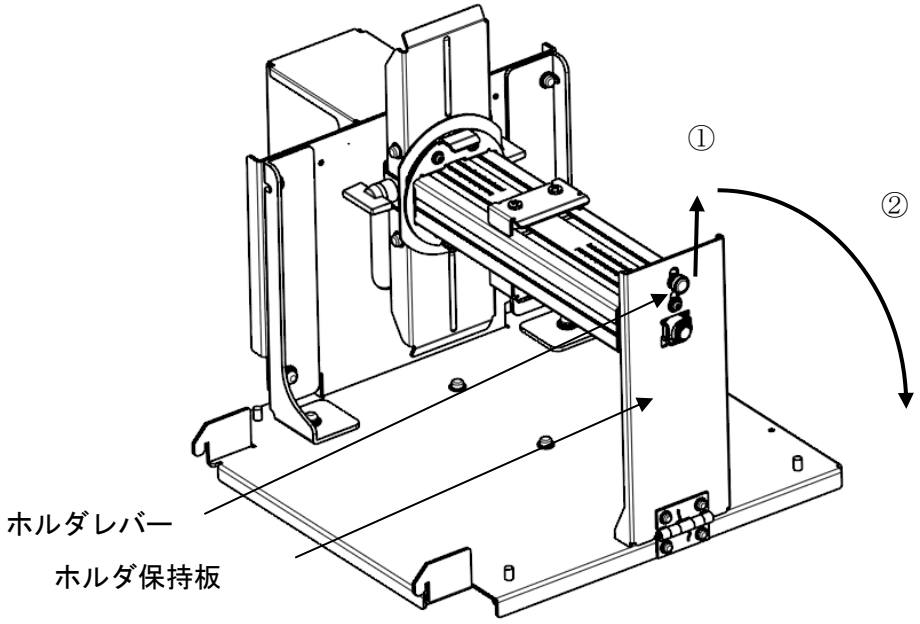
・Option のすべての項目



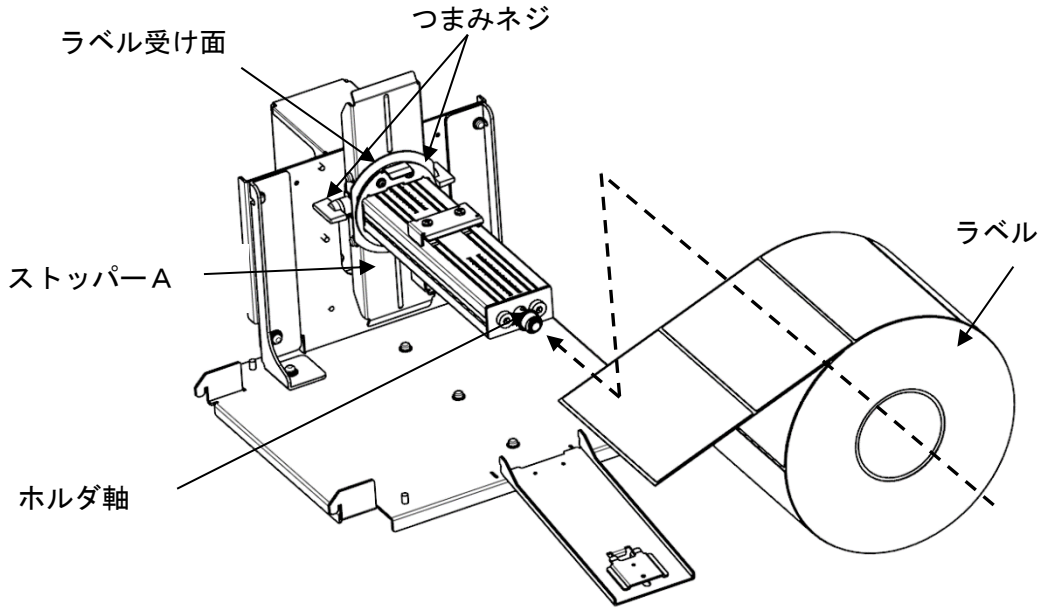
６． ラベルの取り付け方

６－１）ラベルホルダへのラベルのセット

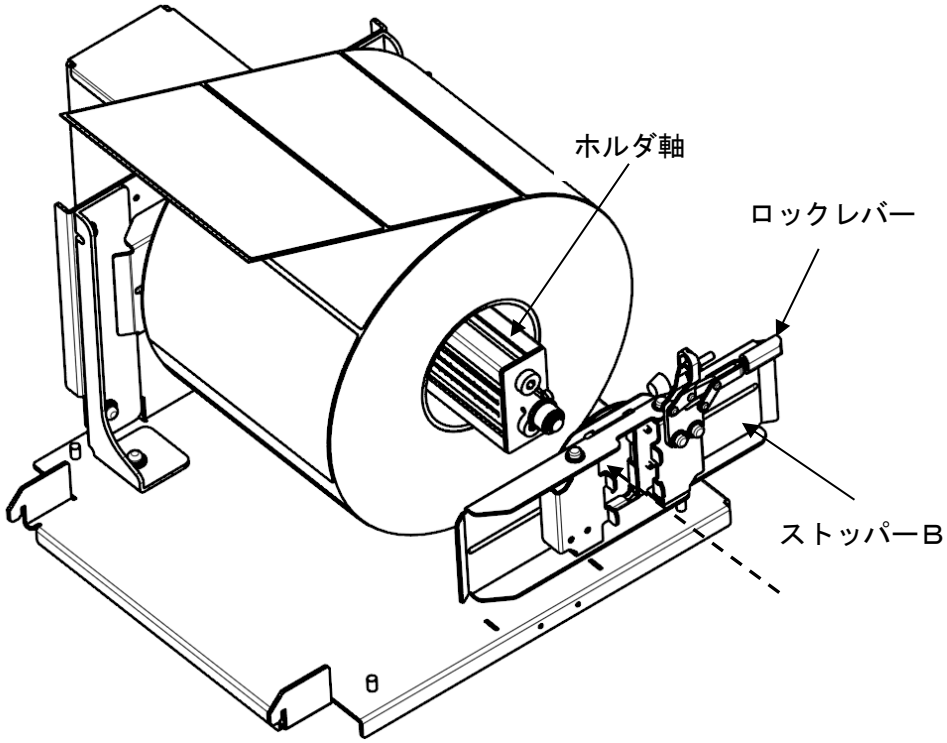
イ）ラベルホルダのホルダレバーを持ち、上方向に持ち上げて（図中①）、
ホルダ保持板を手前へ開いて下さい（図中②）。



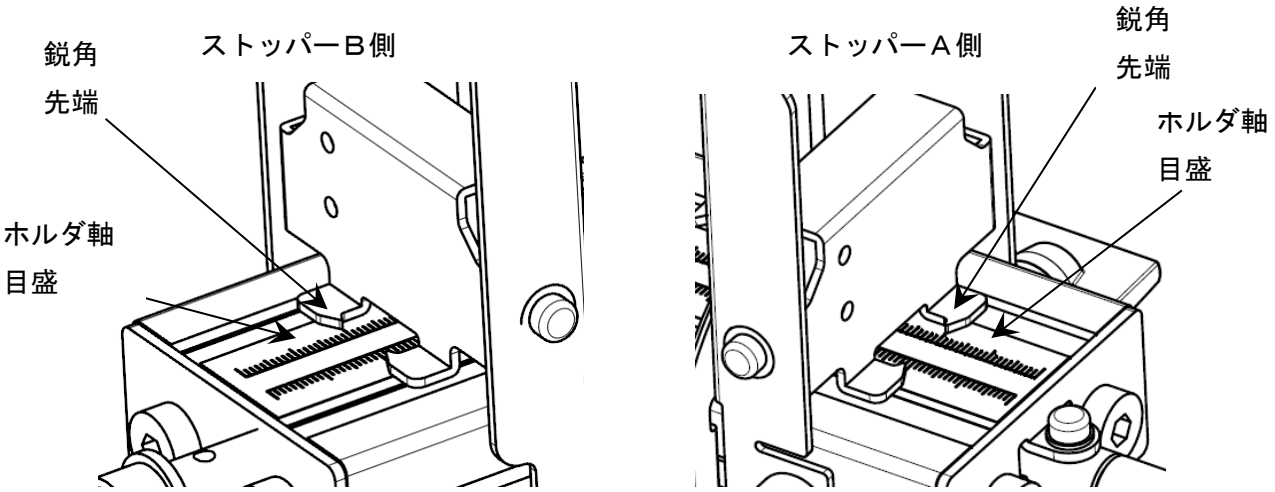
ロ）下図のように、ラベルをホルダ軸に通して、ストッパーＡのラベル受け面に
突き当てて下さい。



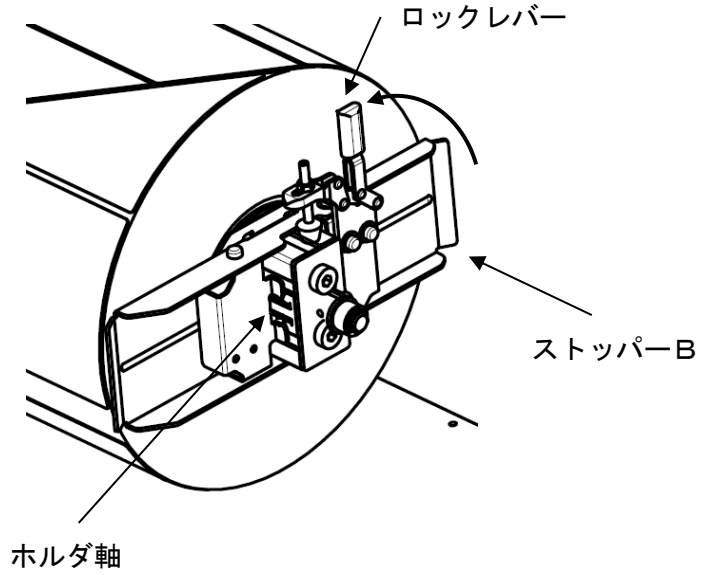
ハ）ストッパーBのロックレバーが図のように倒れている状態で、ストッパーBを、
ホルダ軸に通して、ラベルの紙管に差し込み、ラベルの側面に突き当てて下さい。



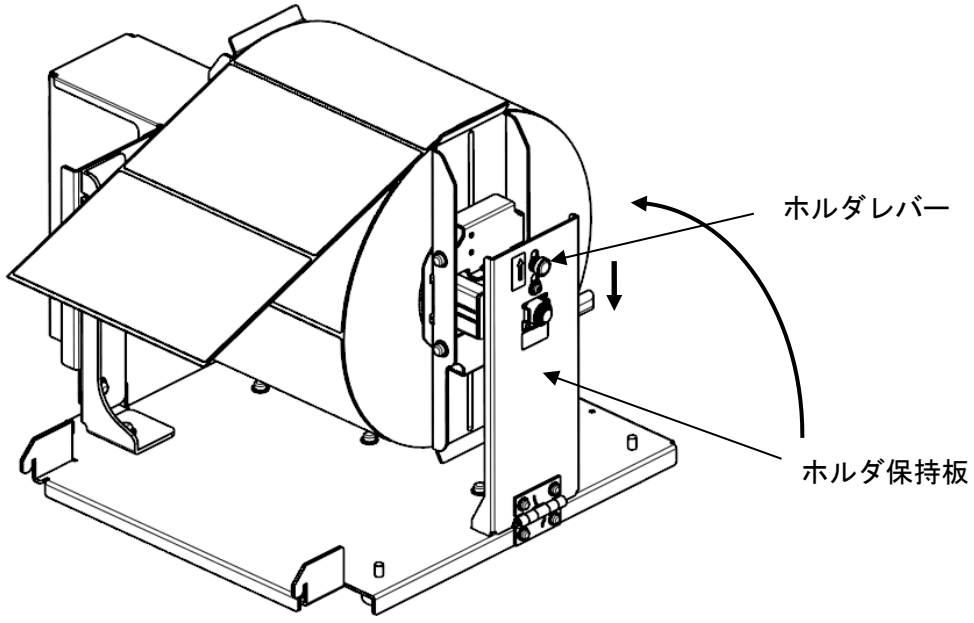
ニ）ストッパーA，B　の鋭角先端で、ホルダ軸の目盛りを確認して合わせます。
左右同じ目盛りの位置になるように、ラベルをセンターに合わせて、ストッパーA、
Bを固定して下さい。



ストッパーＡ　の固定　・・・２個のつまみネジを締めて固定します。
ストッパーＢ　の固定　・・・ロックレバーを倒してホルダ軸に固定します。
（下図参照）



ホ）ホルダレバーを上げながらホルダ保持板を閉め、ホルダレバーを押し下げて、
ホルダ保持板をロックして下さい。



６－２）プリンタ側のラベルセット

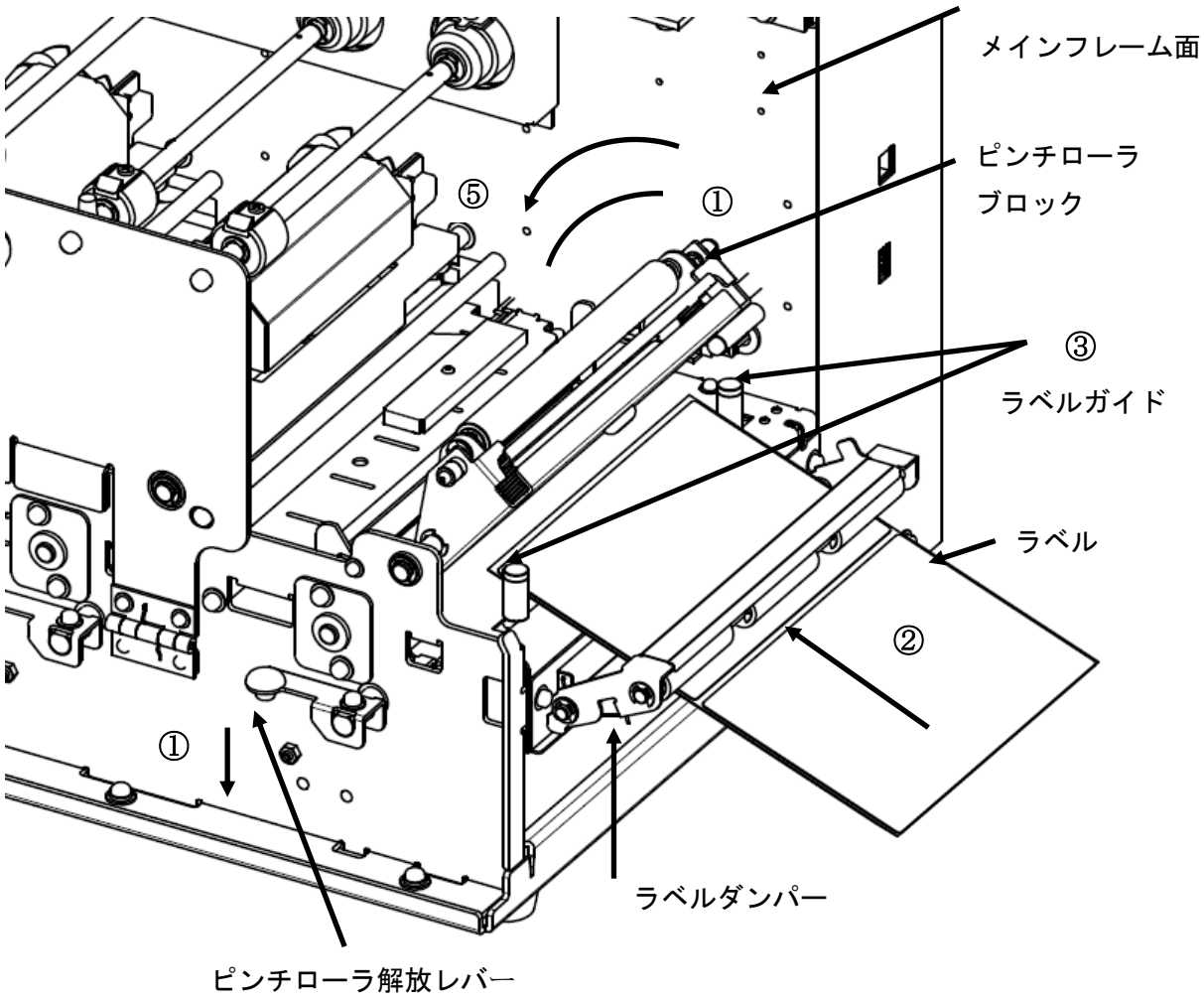
６－２－１）標準仕様（連続ラベル）の場合

イ）ピンチローラ解放レバーを押し下げ、ピンチローラブロックのロックを、解除して下さい（図中①）。

ロ）ラベルの先端を、ラベルダンパーの下を通してプリンタ内に挿入して下さい（図中②）。

ハ）左右のラベルガイドを、左に回して緩めた後、ラベル横両面に合わせ、右に回して閉めて固定して下さい(図中③)。

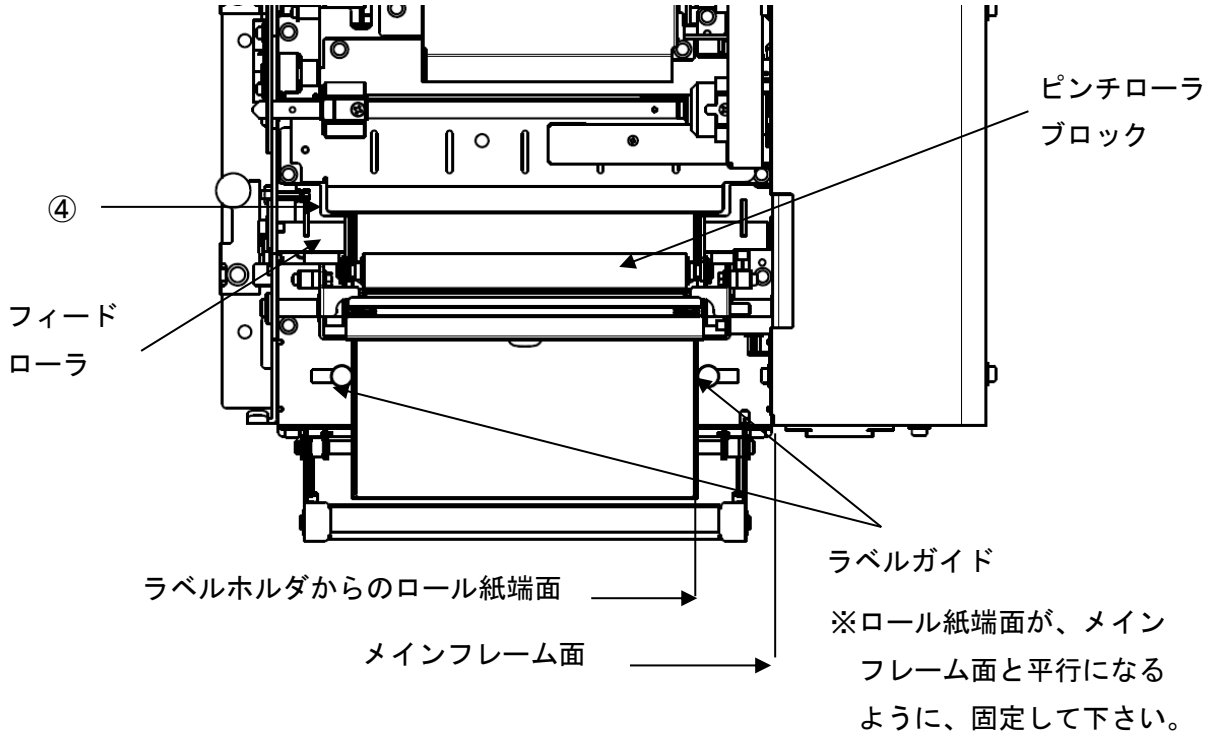
※注意　この時、ラベルホルダで合わせたラベル端面と、メインフレーム面が平行になる様にしてください。ラベルをメインフレーム面に対して傾いてセットすると、ラベルの斜行による印字位置のずれやラベルジャムの原因になります。



ニ）ラベルの先端を、フィードローラが隠れる位置まで差し込んで下さい（図中④）。

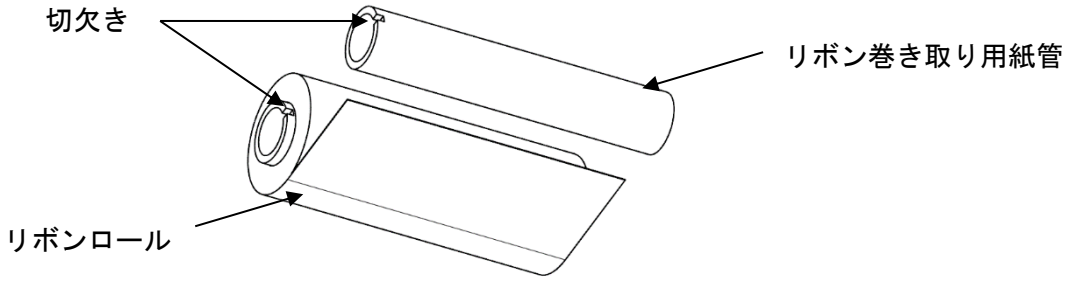
ホ）搬送ブロックを、「カチッ」とロックが掛かる音がするまで、押し下げてロックして下さい。

＜上から見た図＞



７． リボンの取り付け方、交換方法

イ）新品のリボンのテープを剥がし、リボンロールと、リボン巻き取り用紙管に分けて下さい。

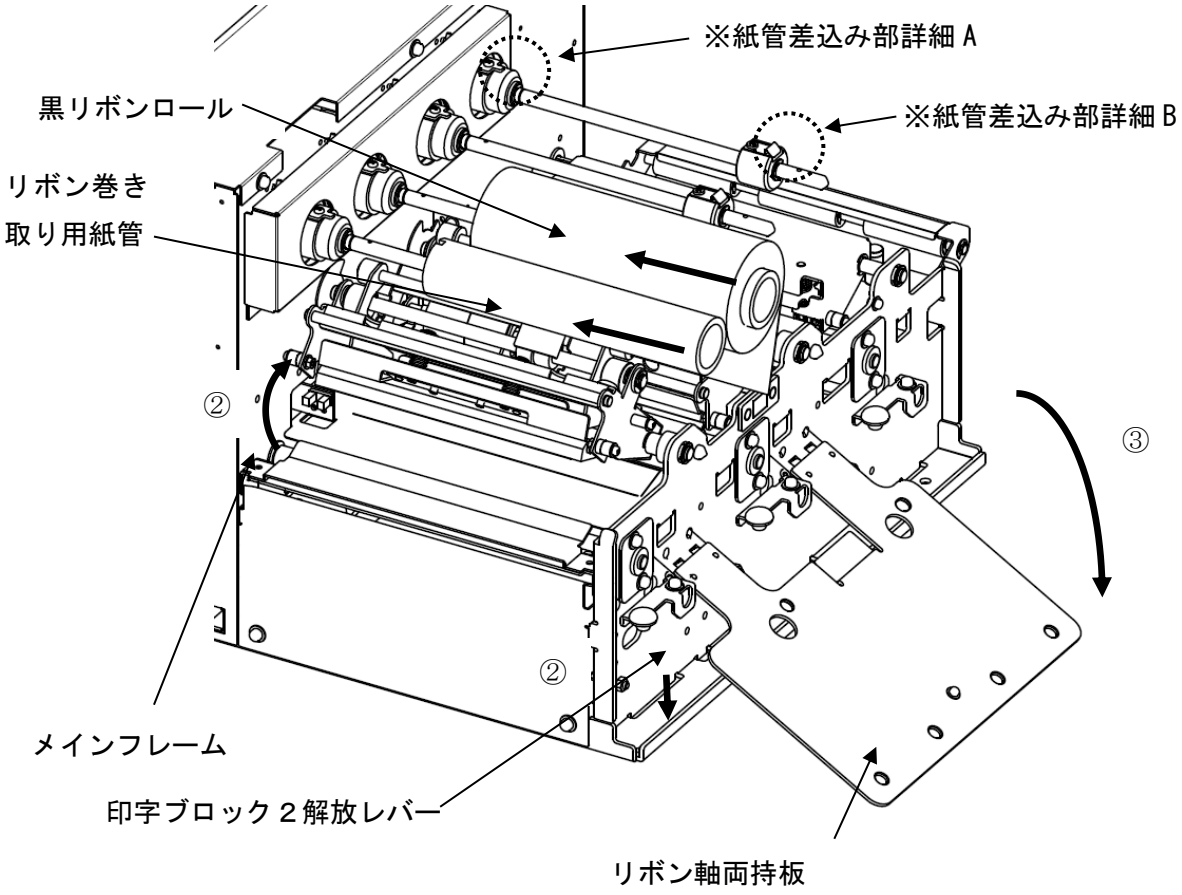


ロ）印字ブロック２解放レバーを押し下げ、印字ブロック２のロックを解除して下さい。（図中②）

ハ）リボン軸両持板のつまみを持って、リボン軸両持板をリボンガイド軸より開放して下さい。（図中③）

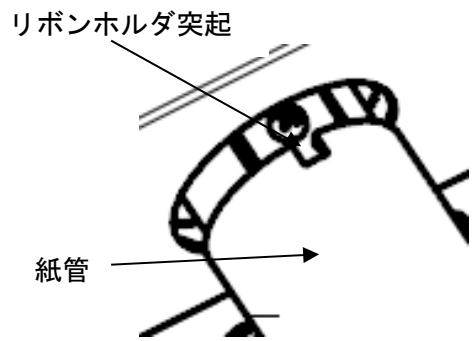
ニ）印字ブロック２上の右側のリボンガイド軸に、黒リボンロールを左側のリボンガイド軸に、リボン巻き取り用紙管を、それぞれ、切欠きがメインフレーム側になるように差し込んで下さい。

（下図は、印字ブロック２上のリボンガイド軸に黒リボンロール、リボン巻き取り用紙管を差し込んだ例です。）

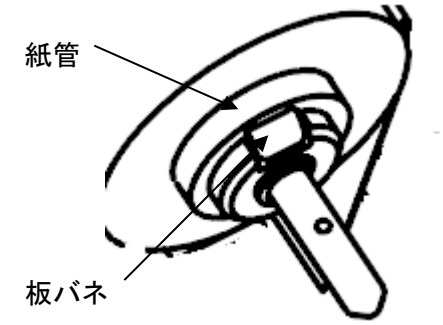


ホ）黒リボンロール付き紙管と、リボン巻取り用紙管の切欠きを、リボンホルダ突起（紙管差込み部詳細 A）に差し込み、紙管が、板バネでロックされる位置（紙管差込み部詳細 B）まで差し込んで下さい。

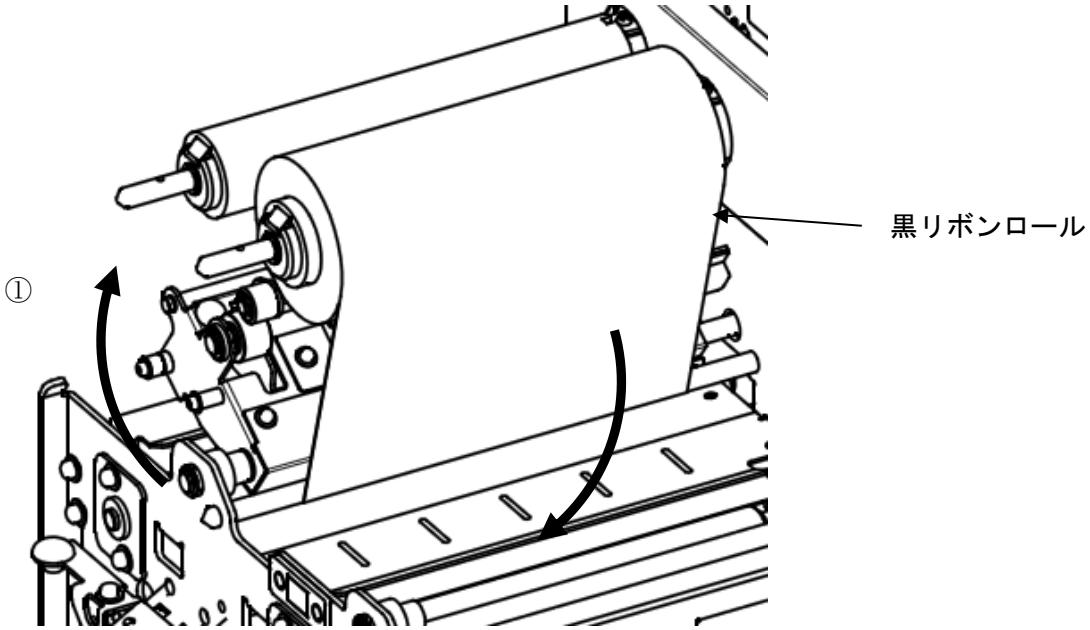
＜紙管差込み部詳細 A＞



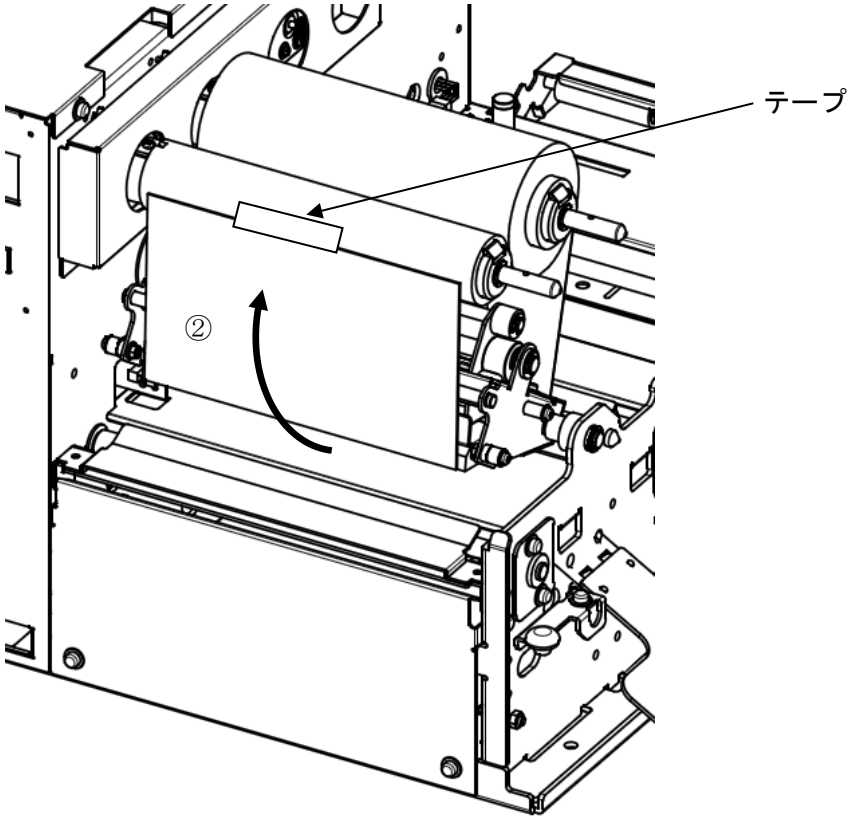
＜紙管差込み部詳細 B＞



へ）黒リボンロールの先端を、印字ブロック２のシャフトの下を潜らせて通して下さい。（図中①）



ト）印字ブロック２の下を通した黒リボン先端を、リボン巻取り用紙管まで引上げ、
リボン幅を合わせ、リボン巻き取り用紙管にテープで貼り付けて下さい（図中②）。



チ）印字ブロック２を「カチッ」とロックが掛かる音がするまで、押し下げてロックして
下さい。

リ）リボンの皺が無くなるまで、リボン巻取り用の紙管を時計回りに手で回して
巻き取って下さい。

ヌ）印字ブロック１に赤リボンロールと、リボン巻き取り用紙管を印字ブロック２と
同様にセットして下さい。

ル）リボン軸両持板のつまみを持って、リボンガイド軸に差し込んで閉めて下さい。

８． 反射・透過センサー出力値調整について

工場出荷時は、センサーの出力値は調整済みですが、認定ラベル以外のラベルを使用の場合、センサー出力調整が必要になる場合があります。センサー出力調整ボリュームを回して適正値に調整して下さい。

８－１）センサー出力適正値

８－１－１）反射センサー出力適正値

マーカが反射センサーの真下にあるとき	１．０Ｖ　以下　①
マーカが反射センサーの真下からはずれたとき	２．５Ｖ　以上

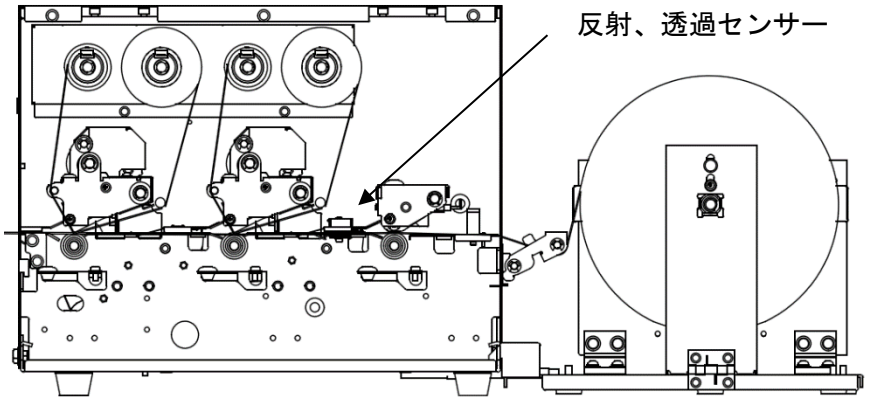
８－１－２）透過センサー出力適正値

ギャップが透過センサーの真下にあるとき	２．５Ｖ　以上
ギャップが透過センサーの真下からはずれたとき	１．０Ｖ　以下

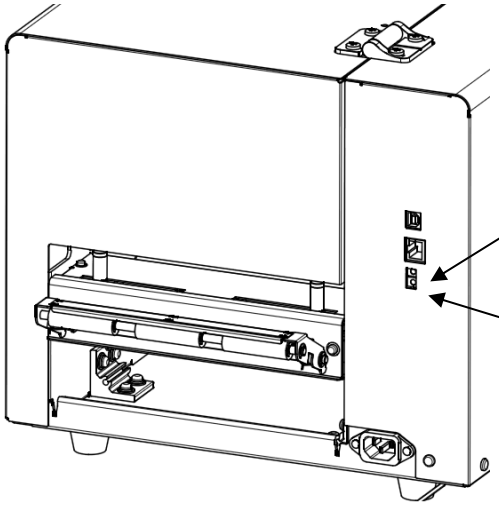
（注）特に反射センサーを使用して印字する場合、上記の適正値で搬送方向に対して、印字位置及び搬送位置がズレたり、”PAPER JAM”エラーとなったりする場合は、①の値を少し上げて調整して下さい。

８－２）センサー（反射、透過）とセンサー出力調整ボリュームの場所

正面



背面



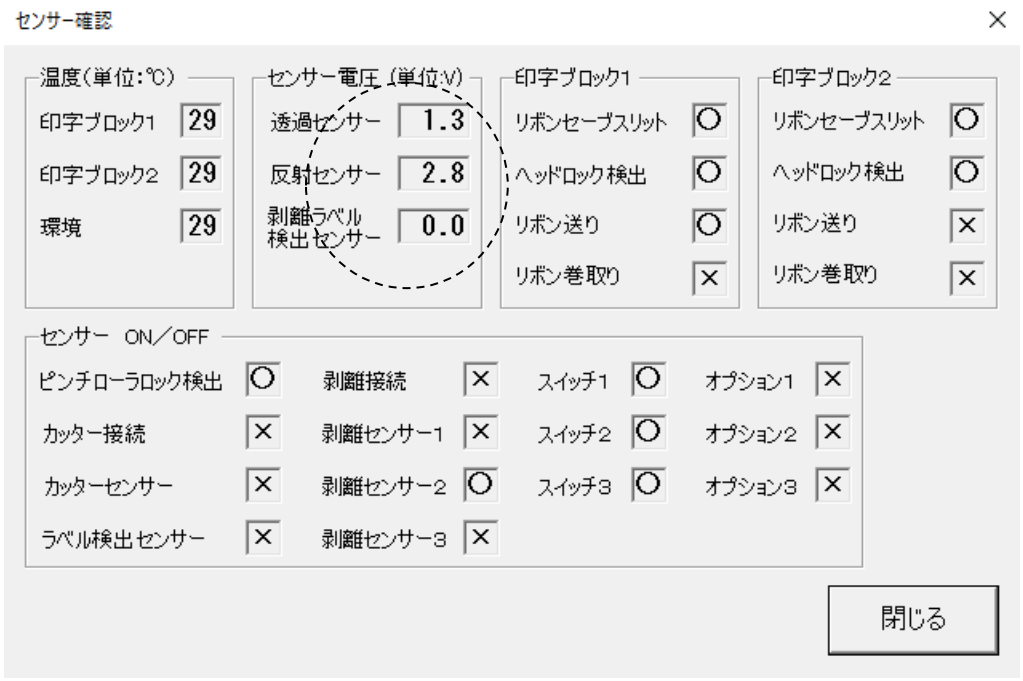
８－３）センサー出力値の表示方法

ラベルの透過部、反射部をセンサー位置に合わせて手動搬送させ、そのときのセンサー出力値を表示する方法とラベルを自動搬送させ、センサー出力値を記憶して、そのログを表示する二つの方法があります。

８－３－１）プリンタ設定ツールを起動すると次のような画面が表示されるので センサー確認ボタンをクリックしてください。



８－３－２）次の画面が表示され、現在の透過センサー、反射センサーの出力値が表示されます。出力調整ボリュームにより出力値の表示が変化します。



８－４）反射センサー出力の調整方法

マーカが反射センサーの真下にあるときと、はずれているときの、それぞれの出力が適正値になるように、８－３－２）の画面を見ながら、反射センサー出力調整用ボリュームを回して調整してください。

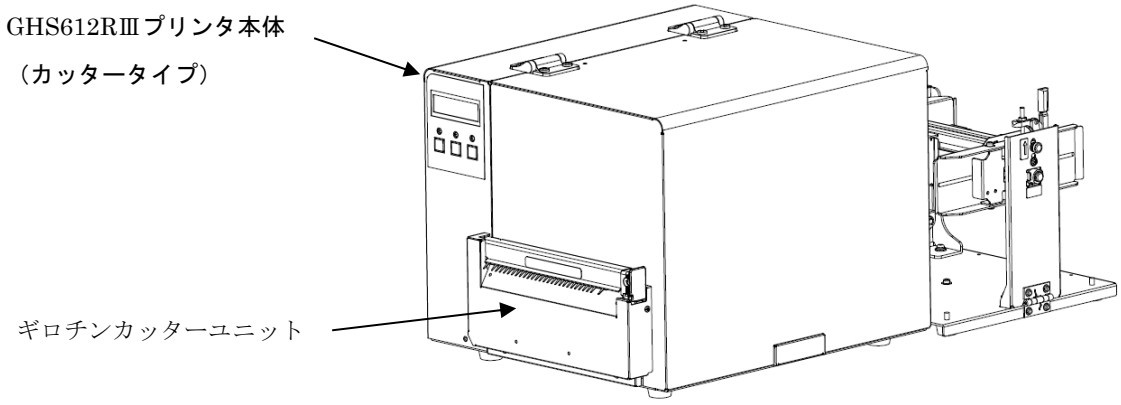
８－５）透過センサー出力の調整方法

ギャップが透過センサーの真下にあるときと、はずれているときの、それぞれの出力が適正値になるように、８－３－２）の画面を見ながら、透過センサー出力調整用ボリュームを回して調整してください。

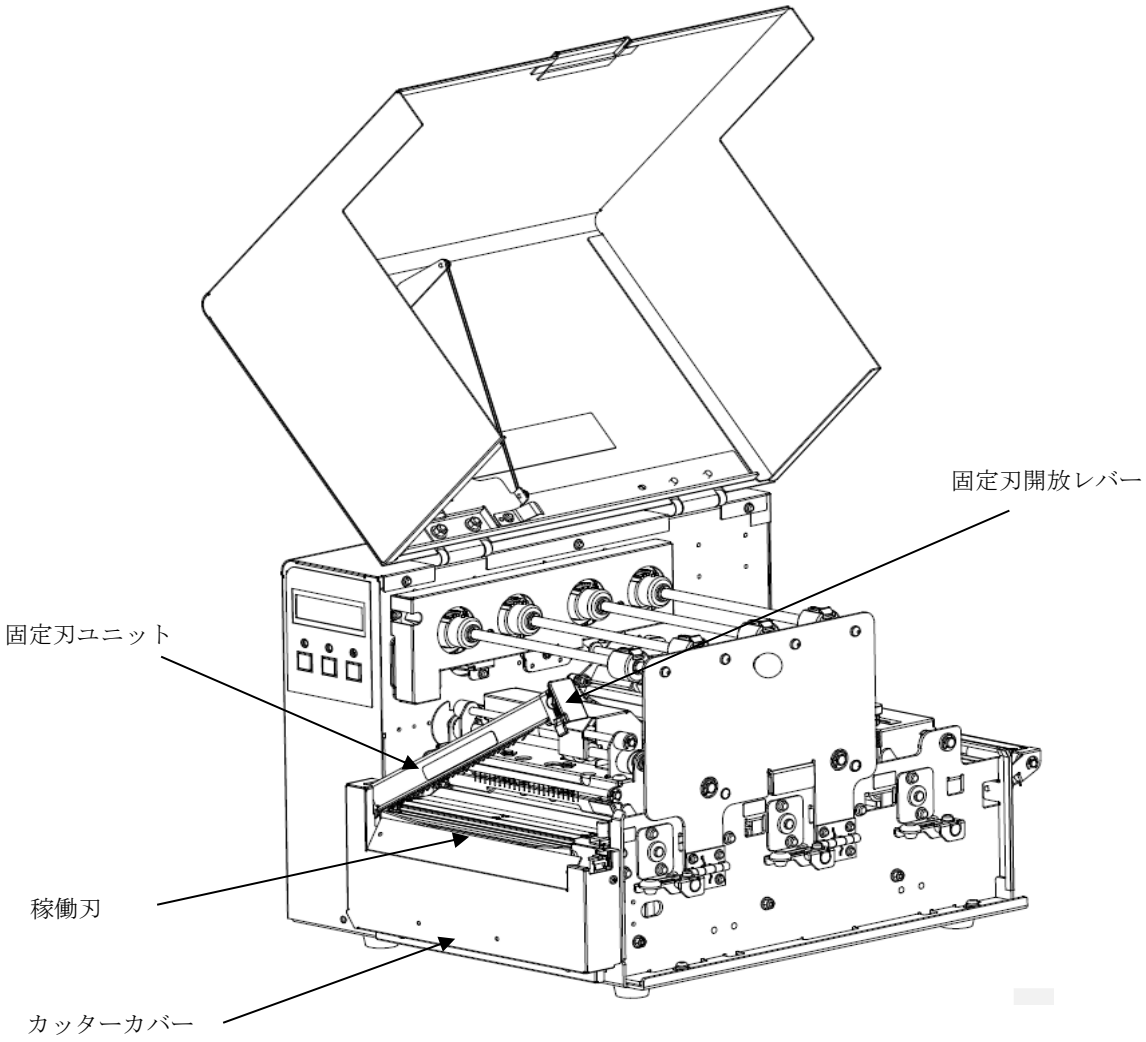
９．　カッタータイプ

９－１）各部の名称とはたらき

＜全体斜視図＞



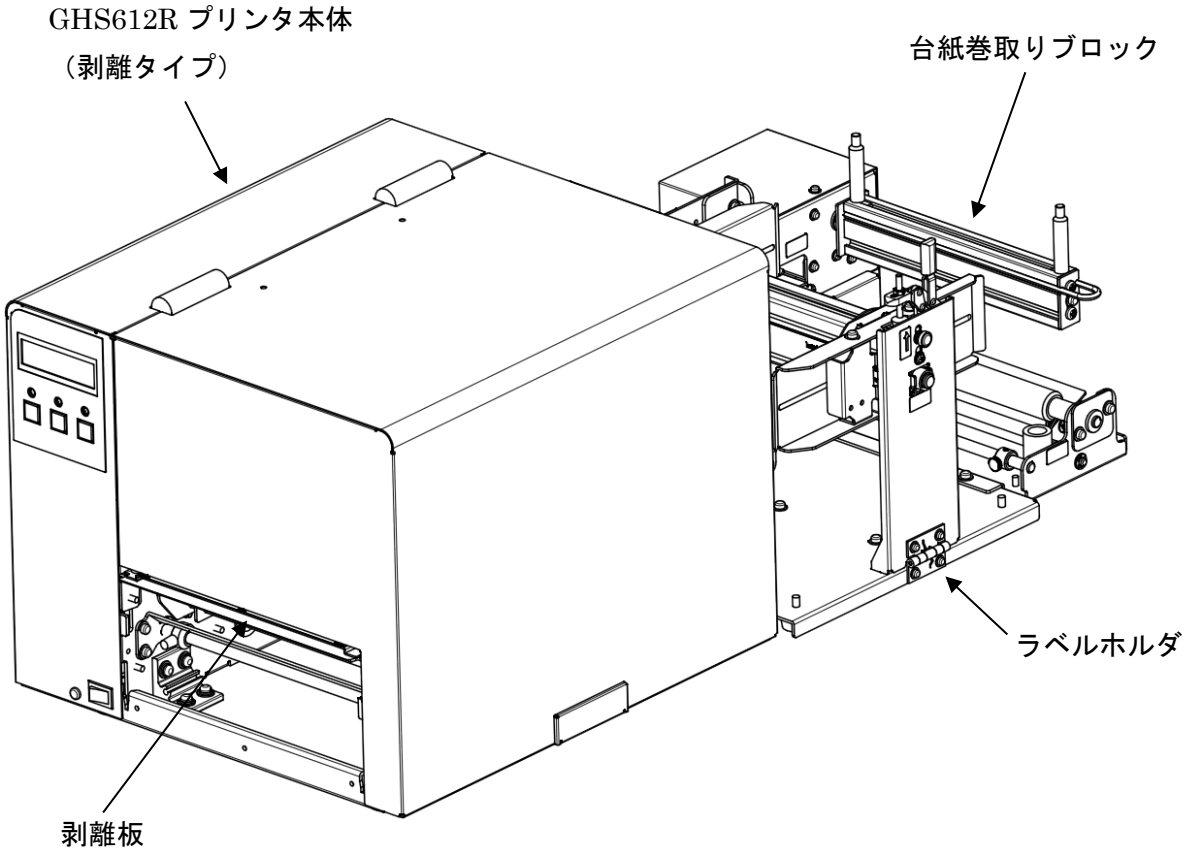
＜カッター固定刃を開放した状態＞



１０．　剥離タイプ

１０－１）各部の名称とはたらき

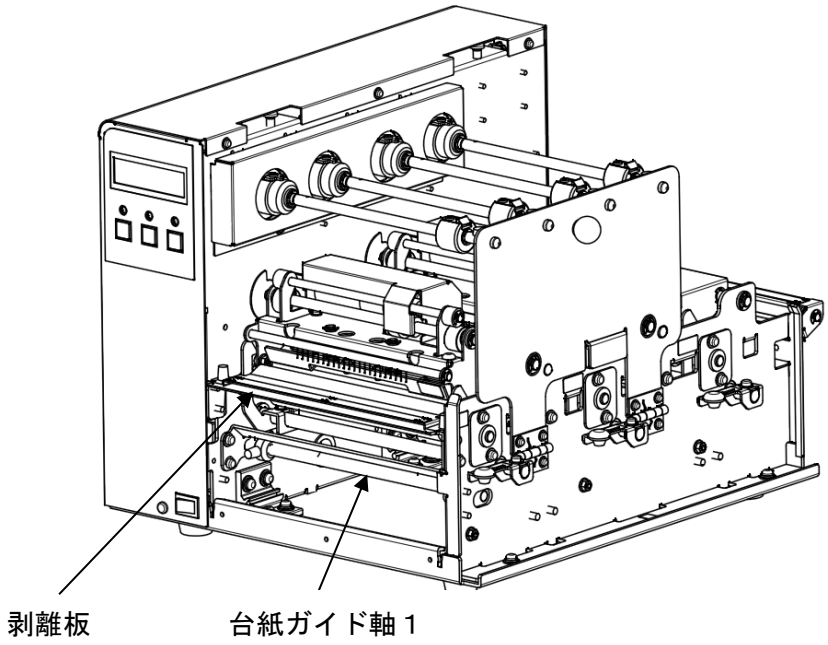
＜全体斜視図＞



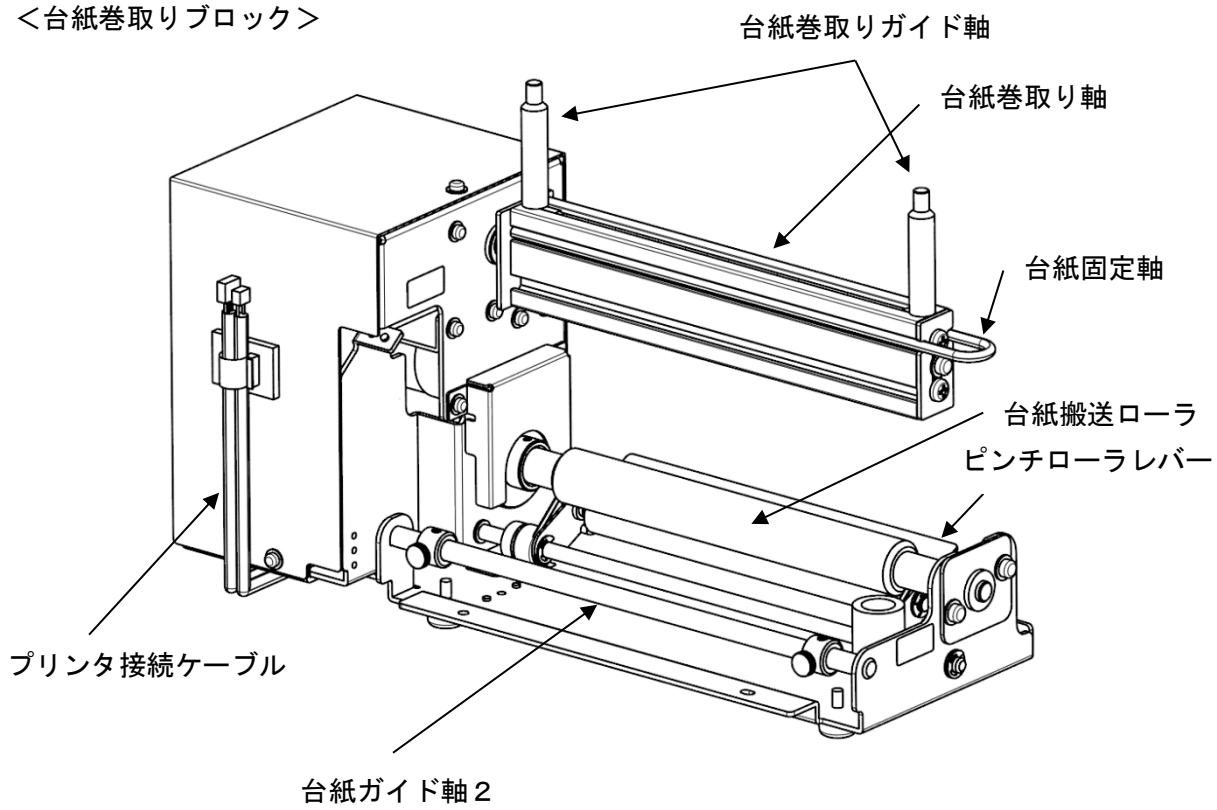
※　剥離タイプのプリンタは、標準タイプに対して、剥離板、台紙ガイド軸１のほか、剥離用基板内蔵、台紙巻取りブロックとの接続ケーブル付き、ラベル上押さえガイド形状、外部 I/F ケーブル付き、等で相違があります。

１０－１－１）各部詳細

＜プリンタ部＞

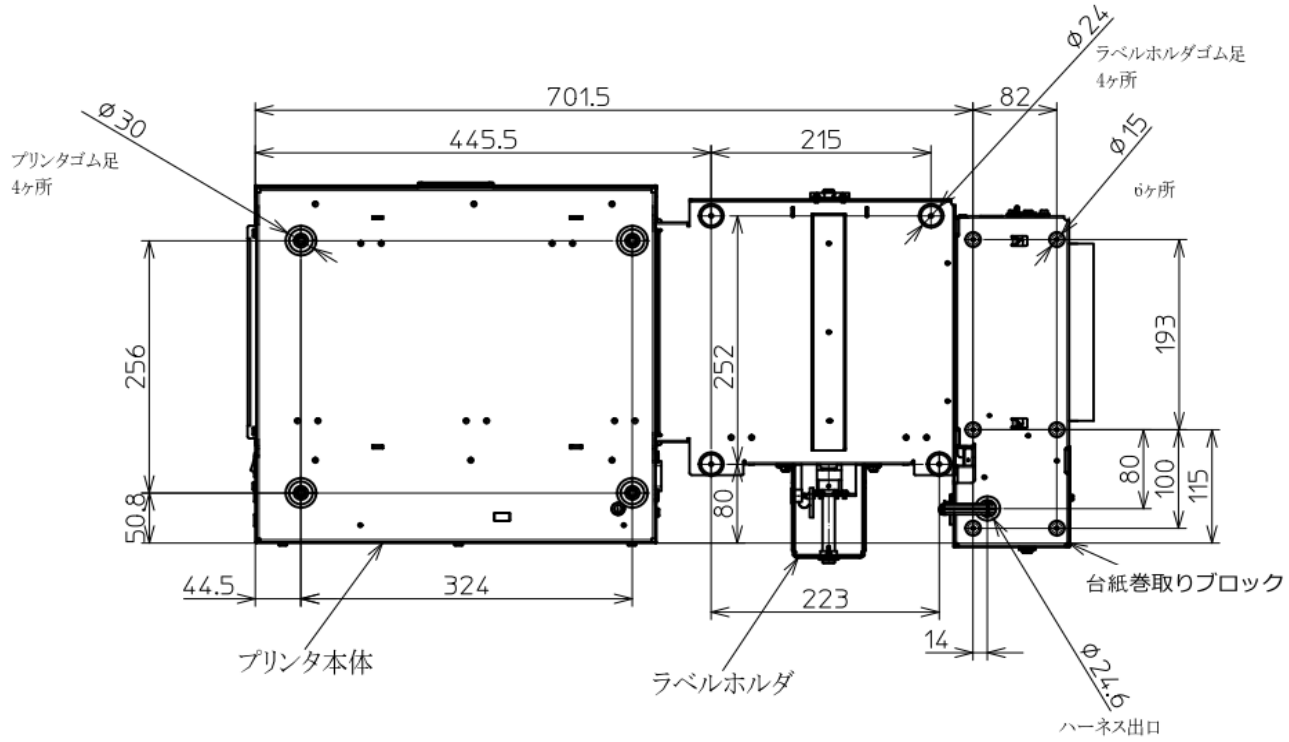


＜台紙巻取りブロック＞



１０－１－２）設置寸法

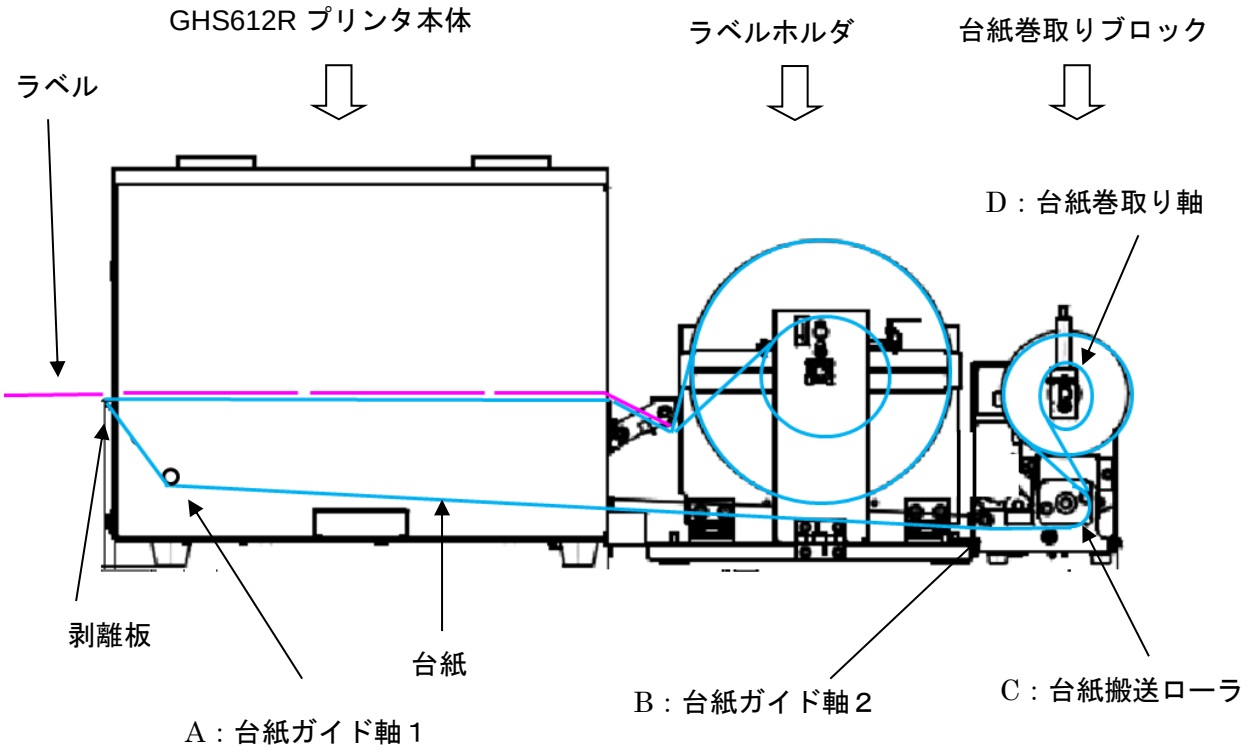
＜裏面図＞（設置寸法、ゴム足位置）



１０－２）用紙のセット

１０－２－１）通紙経路

下記の経路で、ラベル、台紙をセットします。



１０－２－２）用紙のセット

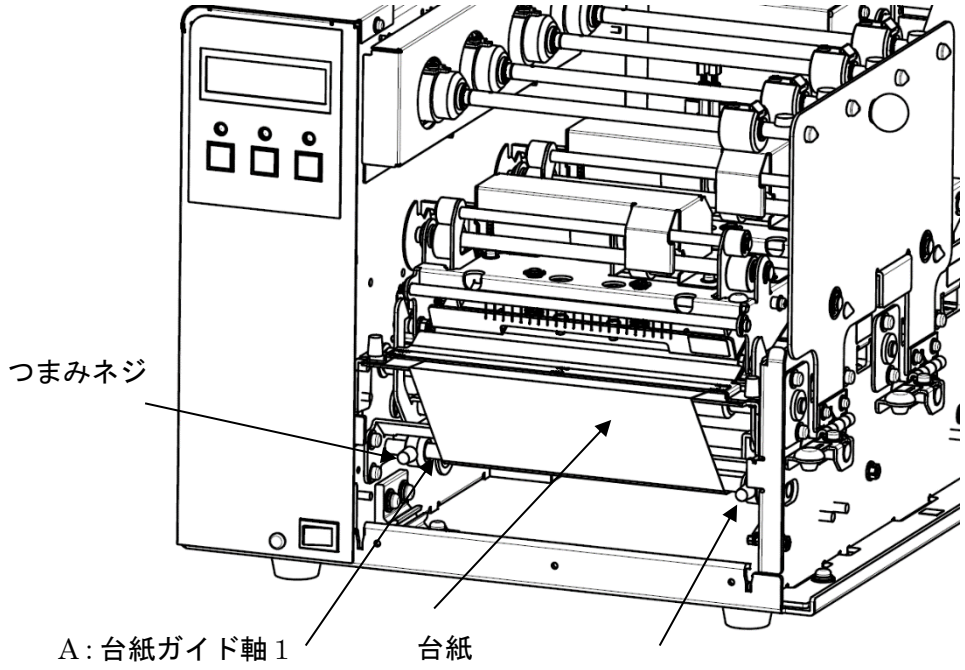
用紙セットの手順を以下の通り行います。

イ）ラベルホルダに用紙をセットし、手動で剥離板まで通す。さらに、用紙先端から約 1000mm程度ラベルを台紙から剥がした状態にする。

注）　ラベルをラベルホルダから剥離板まで通す際は、プリンタのフィードを使用しないで、必ず手動で通して下さい。

ロ）「A：台紙ガイド軸１」部への通紙

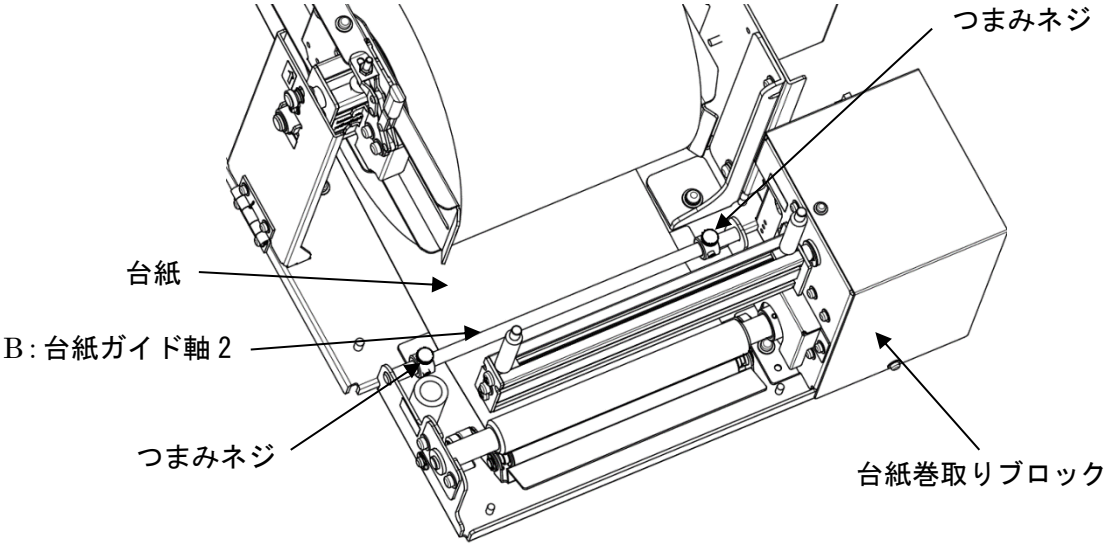
・左右のガイドローラを、つまみネジを緩めておき、下図のように、台紙を台紙ガイド軸１の下に通します。



つまみネジ

ハ）「B：台紙ガイド軸2」部への通紙

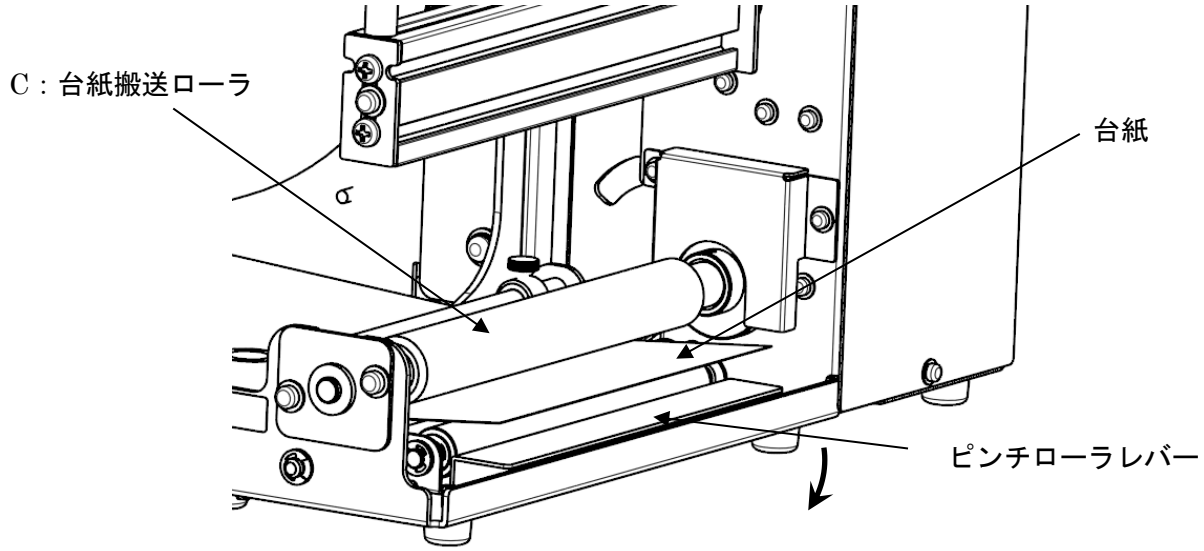
・左右のガイドローラを、つまみネジを緩めておき、下図のように、台紙をガイド軸2の下に通します。



ニ）「C：台紙搬送ローラ」部への通紙

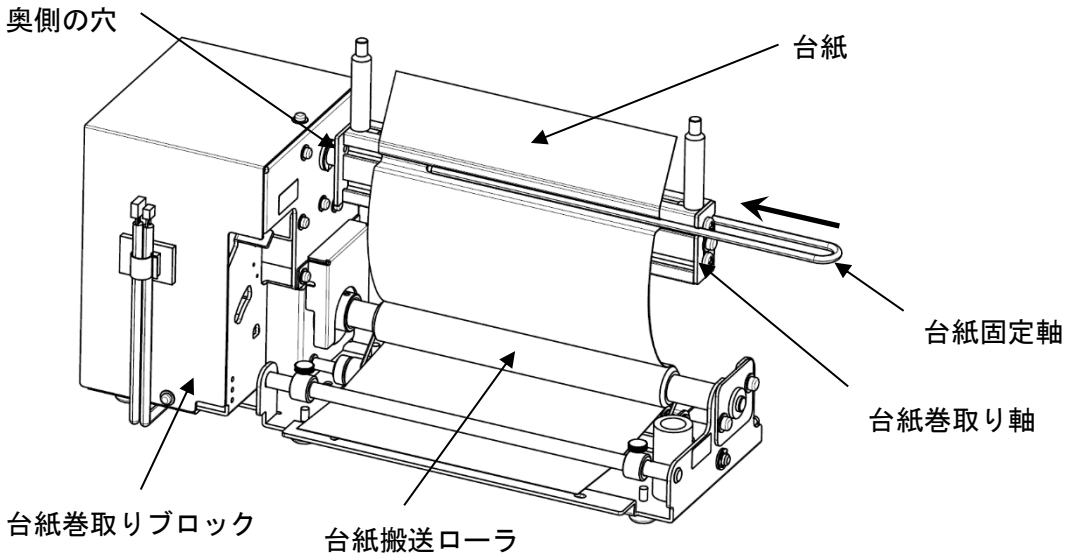
・下図のように、ピンチローラレバーを押し下げ、台紙を、台紙搬送ローラと
ピンチローラの間に通します。

・ラベルホルダのラベル幅と、同じ位置になるように台紙の位置を合わせ、
ピンチローラレバーを離すことで、台紙搬送ローラと、ピンチローラで、
加圧セットされます。

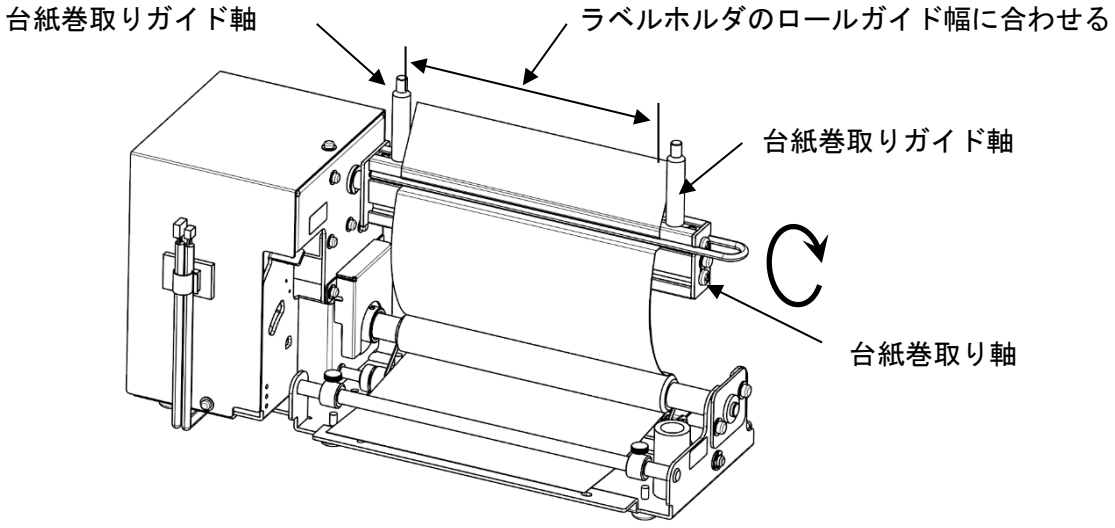


ホ）「D：台紙巻取り軸」部への台紙装着

・台紙を、図のように、台紙巻取り軸に巻き付け、台紙固定軸を、
台紙巻取り軸の溝に沿って挿入し、先端を奥側の２ヶ所の穴に挿し込みます。



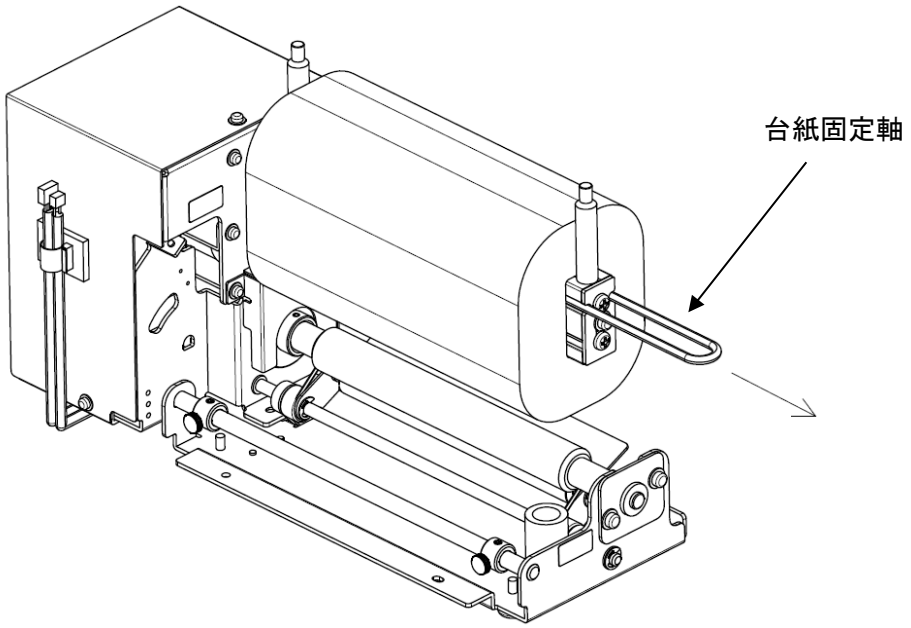
・台紙を、ラベルホルダのロールガイド幅に合わせ、２個の台紙巻取り
ガイド軸を、台紙幅の位置に合わせた後、右に回してネジを締め込み、
固定します。
その後、台紙巻取り軸を時計回りに回して、台紙のたるみをとります。



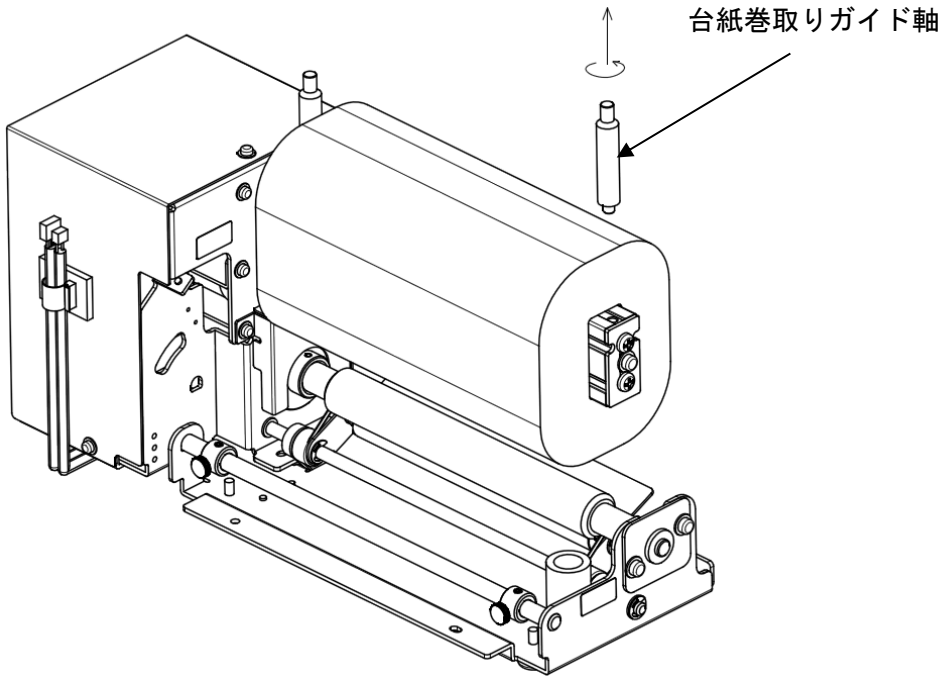
へ）台紙ガイド軸の固定
ラベルホルダのロールから、台紙巻取り軸まで、台紙がセンター振り分けで、
直線に貼っている状態を確認した後、その位置に合うように、
Ａ：台紙ガイド軸１部　と、Ｂ：台紙ガイド軸２部のガイドを合わせ、
各つまみネジを締めて固定します。

１０－２－３）巻き取った台紙の外し方

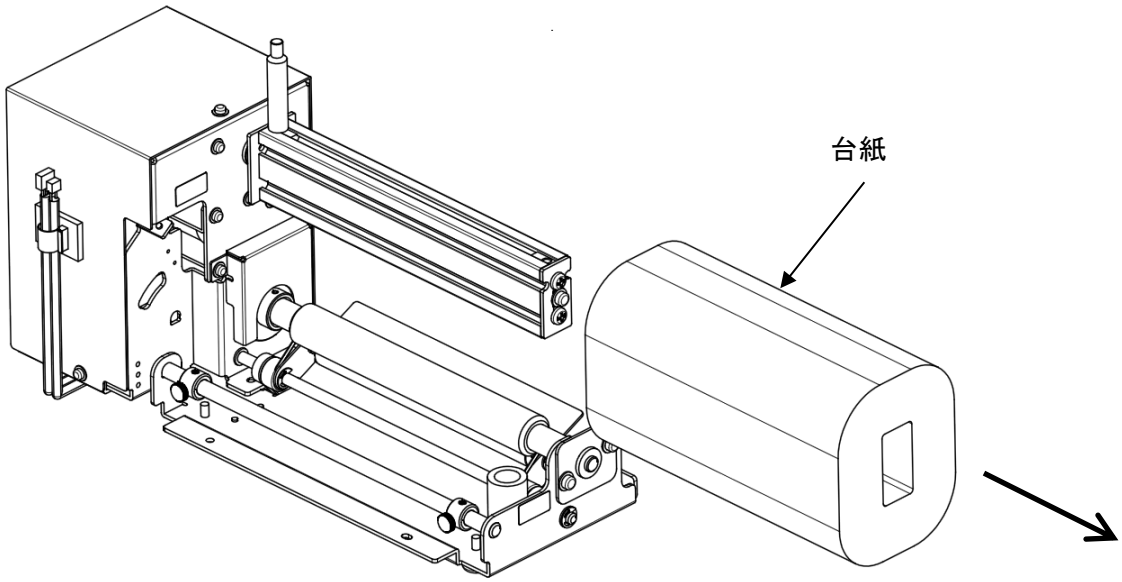
イ）台紙固定軸を、台紙巻取り軸から引き抜きます。



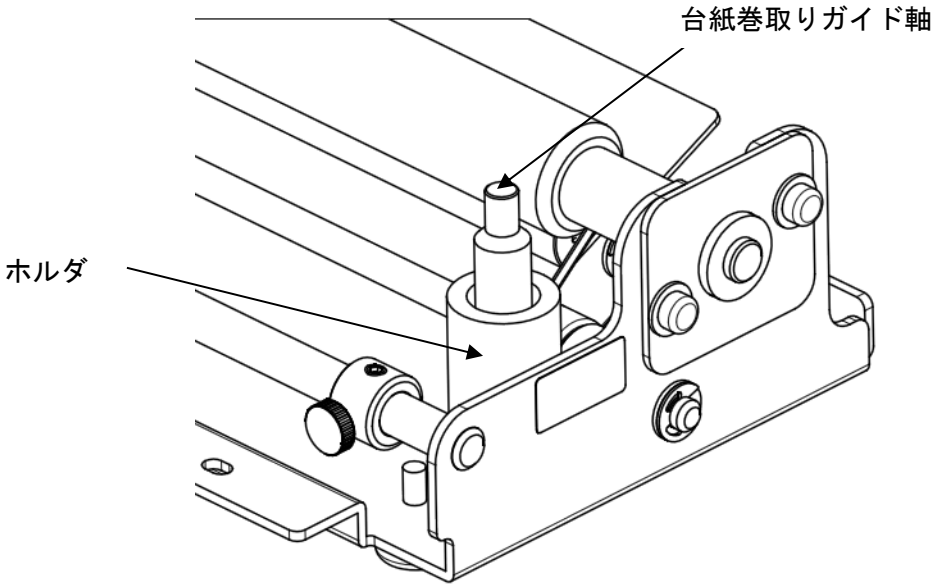
ロ） 手前側の、 台紙巻取りガイド軸を、左に回して外します。



ハ） 巻き取られた台紙を、手前に引き抜いて、外します。



※　ロ）で外した台紙巻取りガイド軸　は、紛失しないように、ホルダに挿しておいてください。



１０－３）ラベラーとの接続について（ラベラー担当技術者向け資料）

１０－３－１）ラベラーとの I/F（電気回路）

イ）外部機器 I/F　信号

PinNo	信号名	I/O	詳細
1	PRIN_ENA	OUT	未印字データの発行開始待ちの場合「L」
2			
3			
4	PRIN_ERROR	OUT	エラー中「L」
5	PRIN	IN	発行許可時に「L」
6	PREND	OUT	外部信号タイプに依存します。１０－３－２）をご確認ください。
7	PRIN2	IN	再発行指示時に「L」
8	EXT24V(+V)	IN	
9			
10			
11			
12			
13			
14			

※I/O はプリンタ側から見た場合

※設定されている信号以外は全て未使用

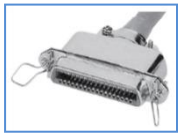
※信号の「H」「L」表記に関しては

① output 回路、③ input 回路をご確認ください。

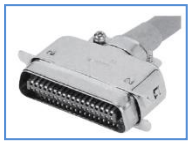
ロ）コネクタ

中継用ケーブルレセプタクル

・プリンタ側は DDK 社製５７シリーズ　メス　　――57-60140

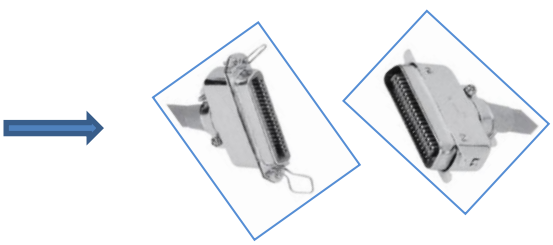


・ラベラー側は DDK 社製５７シリーズ　オス　　――57-30140 を使用のこと



芯数	ソルダカップ形
14	57-30140

プリンタ



ハ）プリンタ側回路

① output 回路

・OUT1 ← PREND 信号

・OUT2 ← PRIN_ERROR 信号

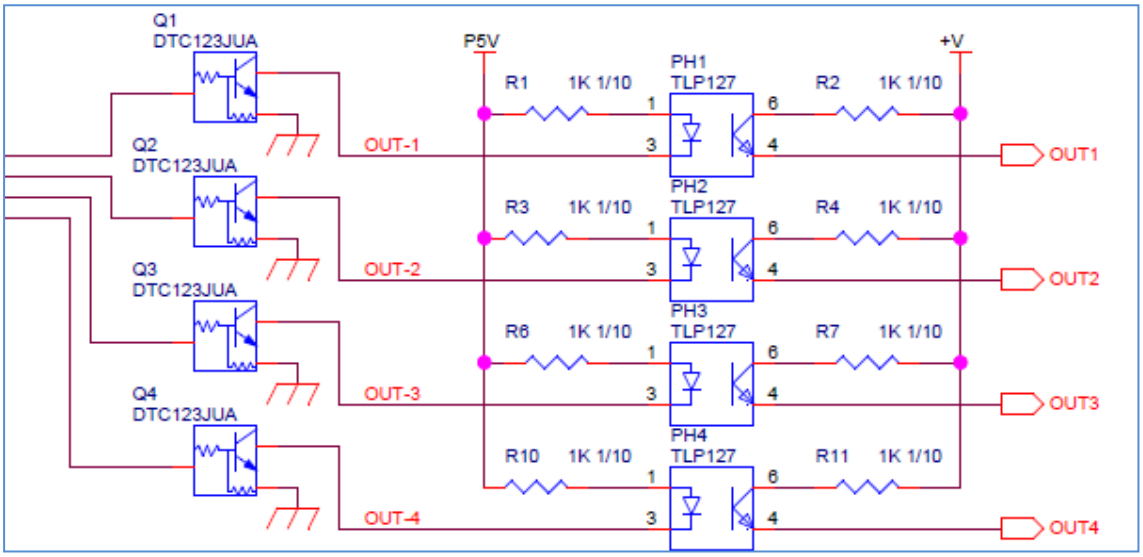
・OUT3 ← PRIN_ENA 信号

・OUT4: 未使用

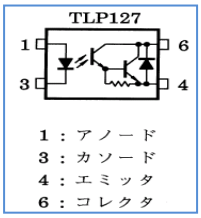
・+V: ラベラーからの 24V

例）PREND が「L」とは、下図のフォトカプラ PH1 が off

（プリンタ側がフォトトランジスターを off）している状態です。



② TLP127 の仕様



電気的特性 (Ta = 25℃)

	項目	記号	測定条件	最小	標準	最大	単位
発光側	順電圧	V_F	I_F = 10 mA	1.0	1.15	1.3	V
	逆電流	I_R	V_R = 5 V	—	—	10	μA
	端子間容量	C_T	V = 0, f = 1 MHz	—	30	—	pF
受光側	コレクタ・エミッタ間降伏電圧	$V_{(BR)\ CEO}$	I_C = 0.1 mA	300	—	—	V
	エミッタ・コレクタ間降伏電圧	$V_{(BR)\ ECO}$	I_E = 0.1 mA	0.3	—	—	V
	暗電流	I_{CEO}	V_{CE} = 200 V	—	10	200	nA
			V_{CE} = 200 V, Ta = 85℃	—	—	20	μA
	端子間容量	C_{CE}	V = 0, f = 1 MHz	—	12	—	pF

③ input 回路

・IN-1 → PRIN

・IN-2 → PRIN2

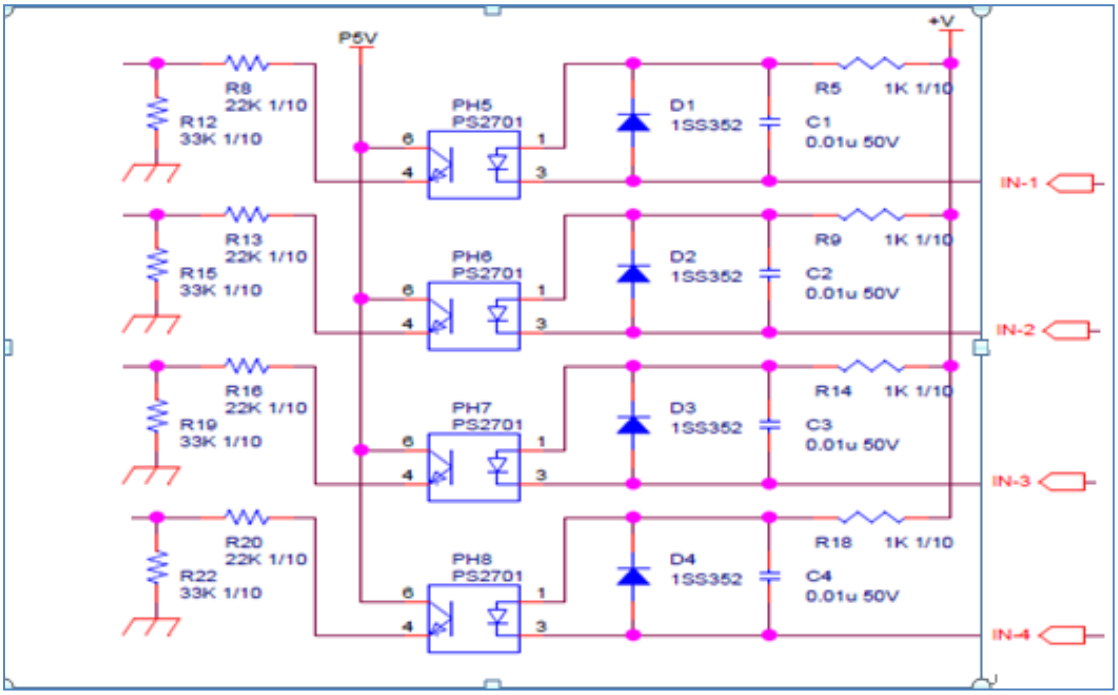
・IN-3: 未使用

・IN-4: 未使用

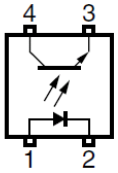
・+V: ラベラーからの 24V

例）PRIN が「L」とは下図のフォトカプラ PH5 が on

（ラベラー側がフォトトランジスターを on）している状態です。



④ ＰＳ２７０１の仕様



1. アノード
2. カソード
3. エミッタ
4. コレクタ

絶対最大定格（特に指定のないかぎり T_A = 25°C）

項　目		略　号	定　格	単　位
発　光	順電流（DC）	I_F	50	mA
	逆電圧	V_R	6	V
	低減率	ΔP_D/°C	0.8	mW/°C
	許容損失	P_D	80	mW
	ピーク順電流[注1]	I_{FP}	1	A
受　光	コレクタ・エミッタ間電圧	V_{CEO}	40	V
	エミッタ・コレクタ間電圧	V_{ECO}	6	V
	コレクタ電流	I_C	80	mA
	低減率	ΔP_C/°C	1.5	mW/°C
	許容損失	P_C	150	mW
絶縁耐圧[注2]		BV	3 750	Vr.m.s.
動作周囲温度		T_A	−55〜+100	°C
保存温度		T_{stg}	−55〜+150	°C

注 1. パルス幅 = 100 μs, Duty 比 = 1%

2. T_A = 25°C, RH = 60%, AC 電圧を 1 分間印加（入力側全電極端子一括と出力側全電極端子一括間）

電気的特性（T_A = 25 °C）

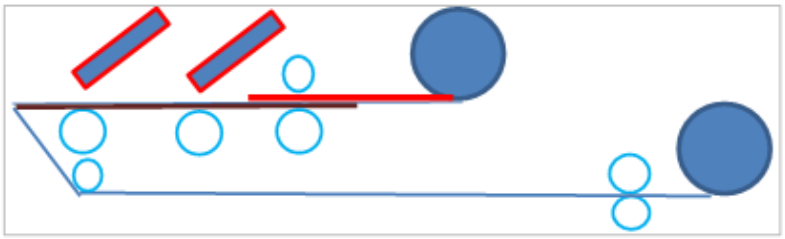
項　目		略　号	条　件	MIN.	TYP.	MAX.	単　位
発　光	順電圧	V_F	I_F = 5 mA		1.1	1.4	V
	逆電流	I_R	V_R = 5 V			5	μA
	端子間容量	C_t	V = 0 V, f = 1 MHz		30		pF
受　光	コレクタしゃ断電流	I_{CEO}	I_F = 0 mA, V_{CE} = 40 V			100	nA
伝達特性	電流伝達率[注1]	CTR	I_F = 5 mA, V_{CE} = 5 V	50	100	300	%
	コレクタ飽和電圧	$V_{CE(sat)}$	I_F = 10 mA, I_C = 2 mA			0.3	V
	入出力間絶縁抵抗	R_{I-O}	V_{I-O} = 1 kVDC	10^{11}			Ω
	入出力間容量	C_{I-O}	V = 0 V, f = 1 MHz		0.4		pF
	立ち上がり時間[注2]	t_r	V_{CC} = 5 V, I_C = 2 mA, R_L = 100 Ω		3		μs
	立ち下がり時間[注2]	t_f			5		

１０－３－２）ラベラーとの I/F（ソフトウェア）

イ）通常印字動作

通常印字動作においては下図の動作を繰り返します。

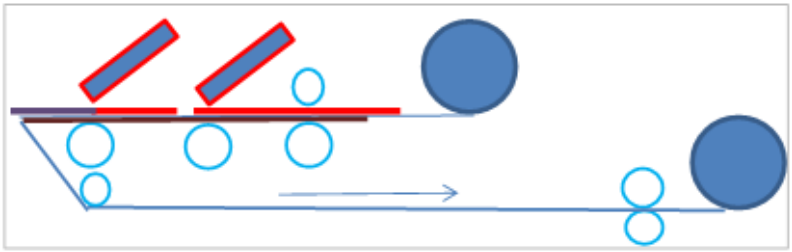
状態－１）印字指示待ち



状態－２）印字中

ラベラーから「PRIN」信号、［PRIN2］信号が来たら印字開始

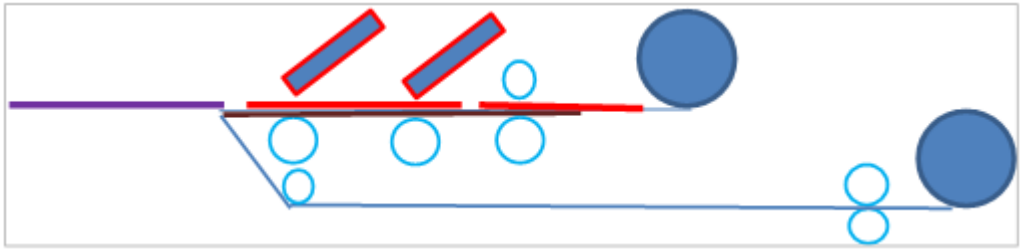
プリンターから「PREND」信号を変移させる。「TYPE１～４による」



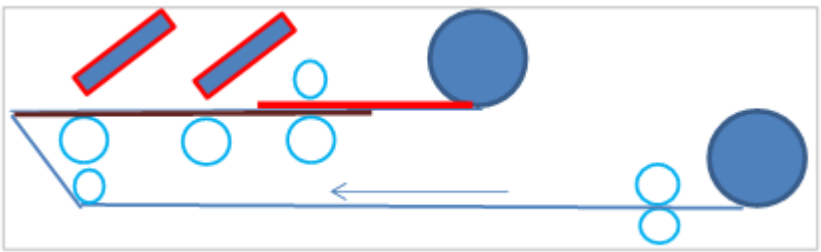
状態－３）印字完了　ラベルが台紙より剥離される。

印字が完了し、剥離のために停止した時点で「PREND」

信号を変移させる。　「TYPE１～４による」



状態－４）バックフィードし、次の印字待ちへ



ロ）「PRIN_ENA」信号

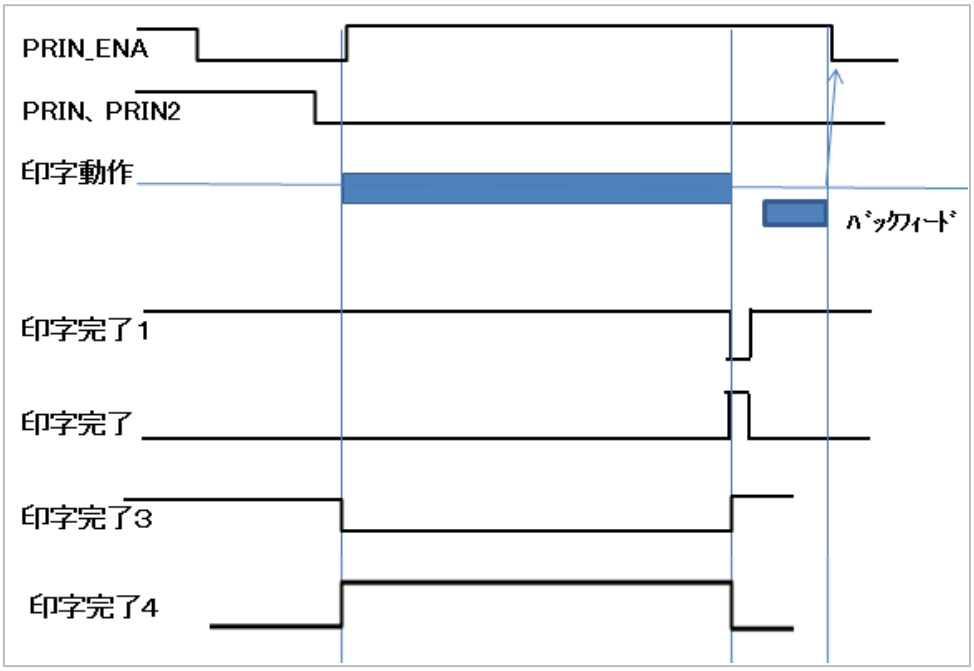
未印字データが印字開始待ちになったとき、「PRIN_ENA」信号を出力します。
ラベラー側はその信号を見て、「PRIN」または「PRIN2」を入力してください。

ハ）「PREND」信号

外部信号タイプによって、「PREND」信号の出し方は異なります。
設定ツールの詳細画面にある、「ラベラー設定」の「種別」により変更できます。

タイプ	動作内容
タイプⅠ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が High 状態であり、印字完了後に信号レベルが Low 状態になります。20ms 後には信号レベルが High 状態になります。
タイプⅡ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が Low 状態であり、印字完了後に信号レベルが High 状態になります。20ms 後には信号レベルが Low 状態になります。
タイプⅢ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が High 状態であり、印字開始時から印字完了まで Low 状態になり、印字完了後は High 状態になります。
タイプⅣ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が Low 状態であり、印字開始時から印字完了まで High 状態になり、印字完了後は Low 状態になります。

発行シーケンス

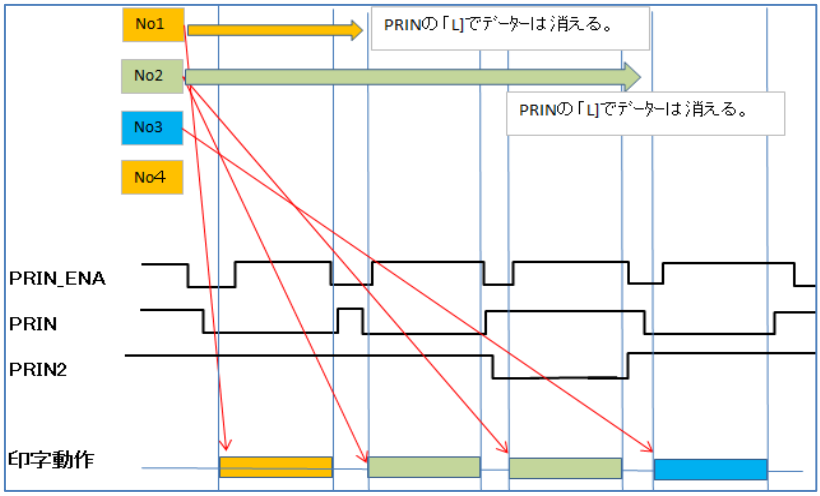


ニ）「PRIN」信号

「PRIN_ENA」出力中に「PRIN」が入力されると、プリンタは印字動作を開始します。

直前に正常発行できたデータを再発行する場合は、「PRIN2」を入力してください。

（その次の新しいデータがない場合は、「PRIN_ENA」は出力されません）



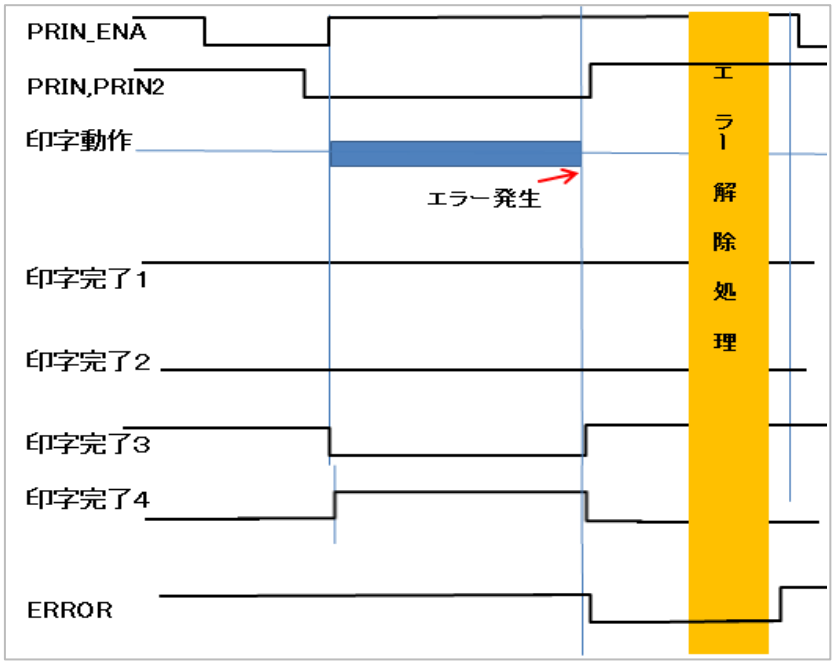
ホ）「PRIN_ERROR」信号

「PRIN_ERROR」信号は、プリンタがエラー停止している期間中、出力されます。

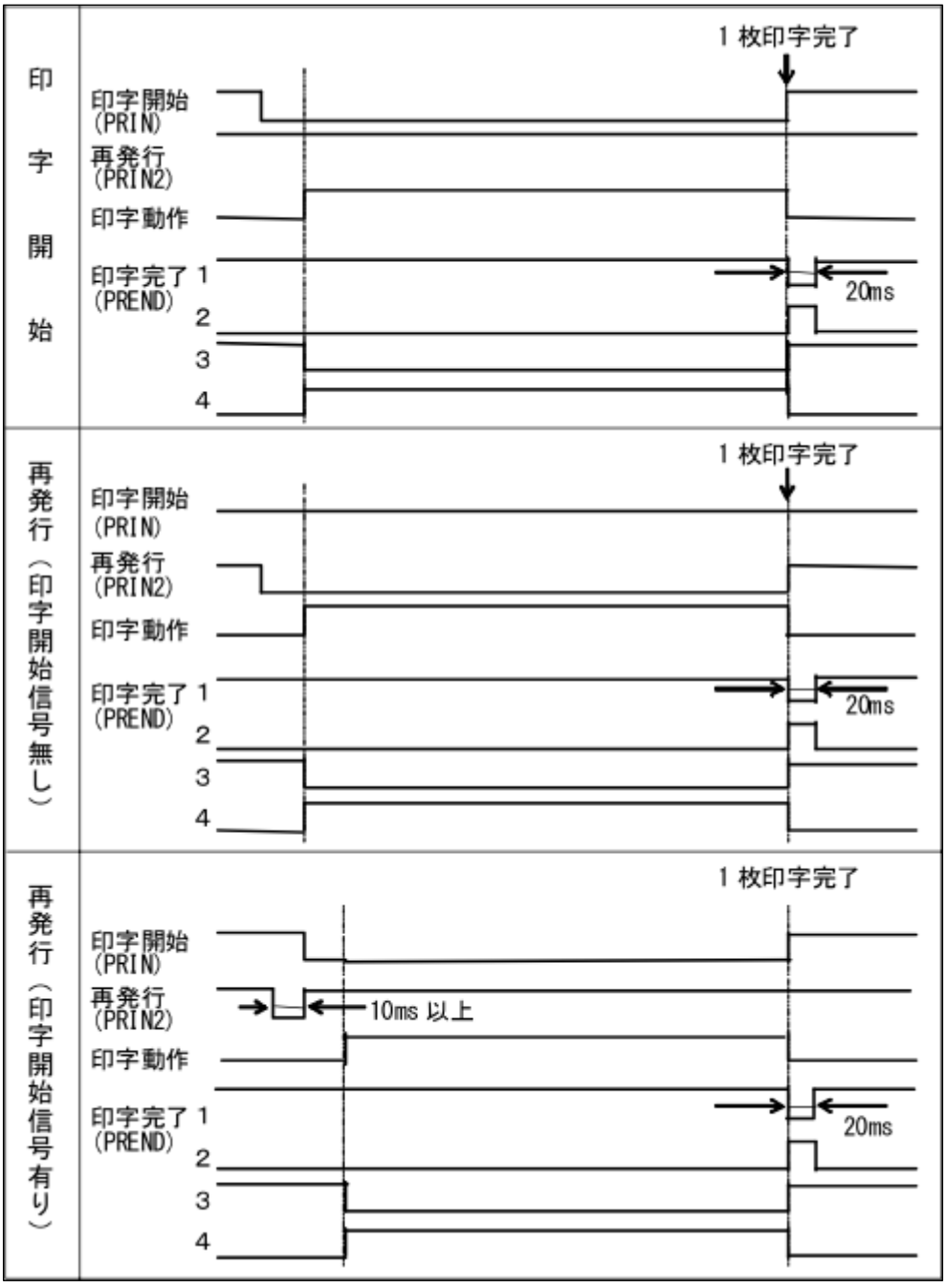
（ペーパーエンド、ペーパージャム、リボンエンド、ヘッドオープン等）

プリンタ側のエラーを解除し、「PRIN」または「PRIN2」で発行指示してください。

・エラー時のシーケンス

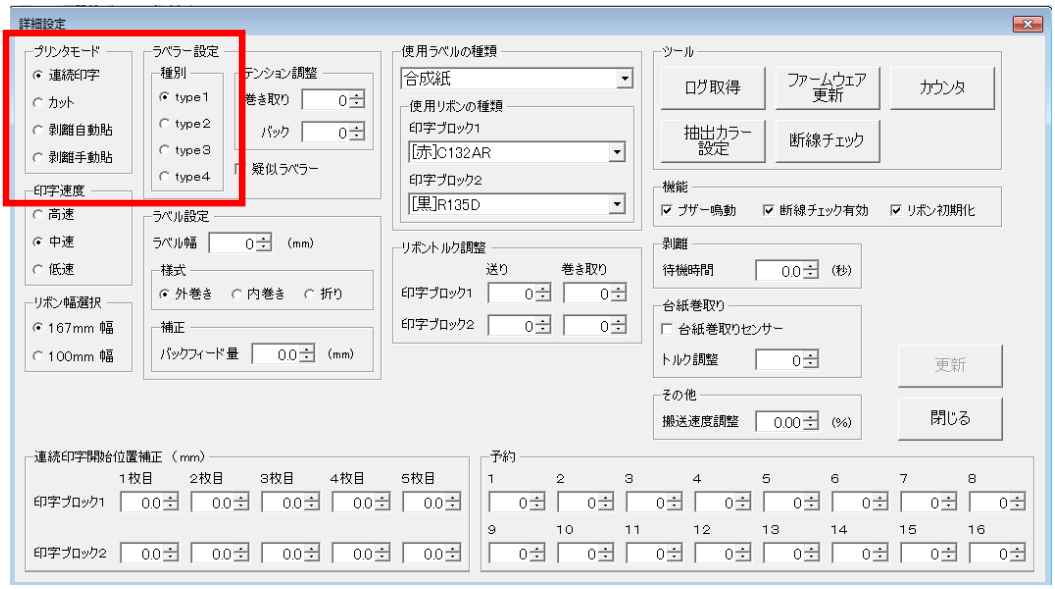


へ）印字と I/F 信号遷移


印字開始
1 枚印字完了
印字開始
(PRIN)
再発行
(PRIN2)
印字動作
印字完了
(PREND)
1
2
3
4
20ms
再発行（印字開始信号無し）
1 枚印字完了
印字開始
(PRIN)
再発行
(PRIN2)
印字動作
印字完了
(PREND)
1
2
3
4
20ms
再発行（印字開始信号有り）
1 枚印字完了
印字開始
(PRIN)
再発行
(PRIN2)
10ms 以上
印字動作
印字完了
(PREND)
1
2
3
4
20ms

１０－３－３）剥離発行モード

剥離の発行モードには、以下の２種類があります。
設定ツールの詳細設定画面で選択をします。



イ）剥離自動貼モード

外部接続機器（ラベル貼付装置など）を接続して、ラベル自動貼り仕様として動作させるモードです。

タイプ	動作内容
タイプⅠ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が High 状態であり、印字完了後に信号レベルが Low 状態になります。20ms 後には信号レベルが High 状態になります。
タイプⅡ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が Low 状態であり、印字完了後に信号レベルが High 状態になります。20ms 後には信号レベルが Low 状態になります。
タイプⅢ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が High 状態であり、印字開始時から印字完了まで Low 状態になり、印字完了後は High 状態になります。
タイプⅣ	ラベル発行する前は、印字完了信号(PREND)が Low 状態であり、印字開始時から印字完了まで High 状態になり、印字完了後は Low 状態になります。

ロ）（剥離手動貼モード）

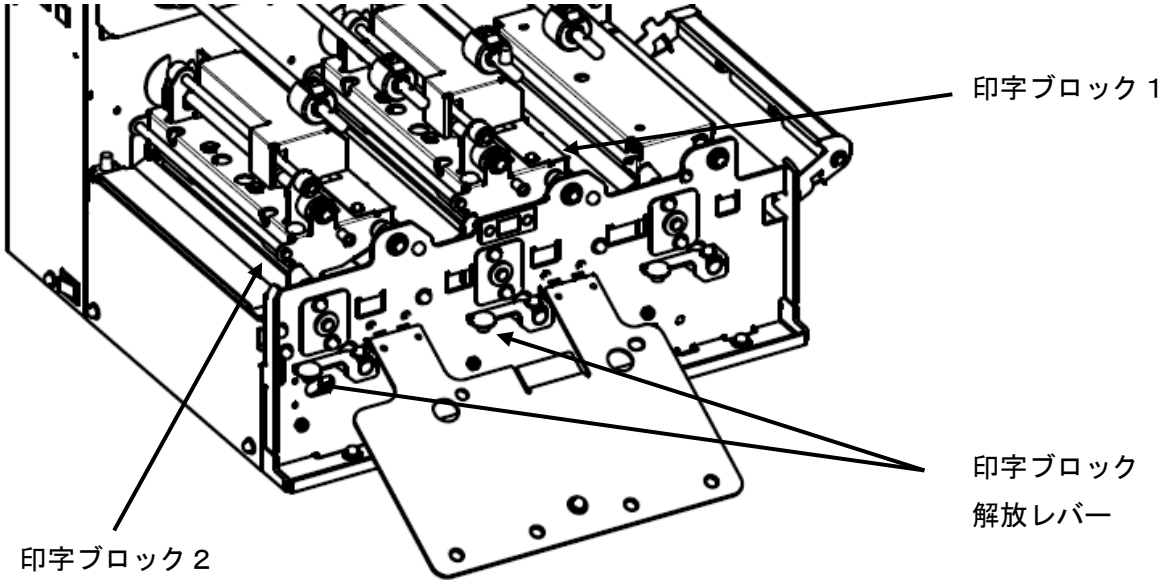
※　現時点、このモードは対応していません。
今後予定しているオプション「剥離ラベル検出センサー」の取付けにより対応可能となります。

１１．日常のお手入れ

お手入れの際は、必ず、<u>１．**安全にお使いいただくために**</u>　を確認し、守ってください。
いつも綺麗な印字がえられるように、定期的に（ラベル又はリボン交換毎）に本機の掃除を行ってください。特に、印字ヘッド、プラテン、フィードローラ、ピンチローラには汚れが付きやすいので下記の手順で清掃して下さい。

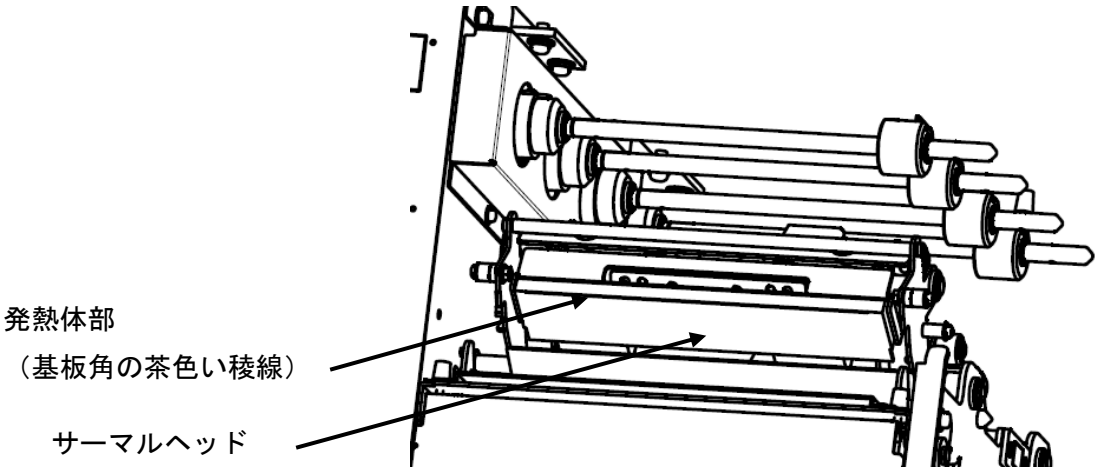
１１－１）印字ブロック部の清掃について

イ）印字ブロック解放レバーを押下し、印字ブロックのロックを解除して下さい。



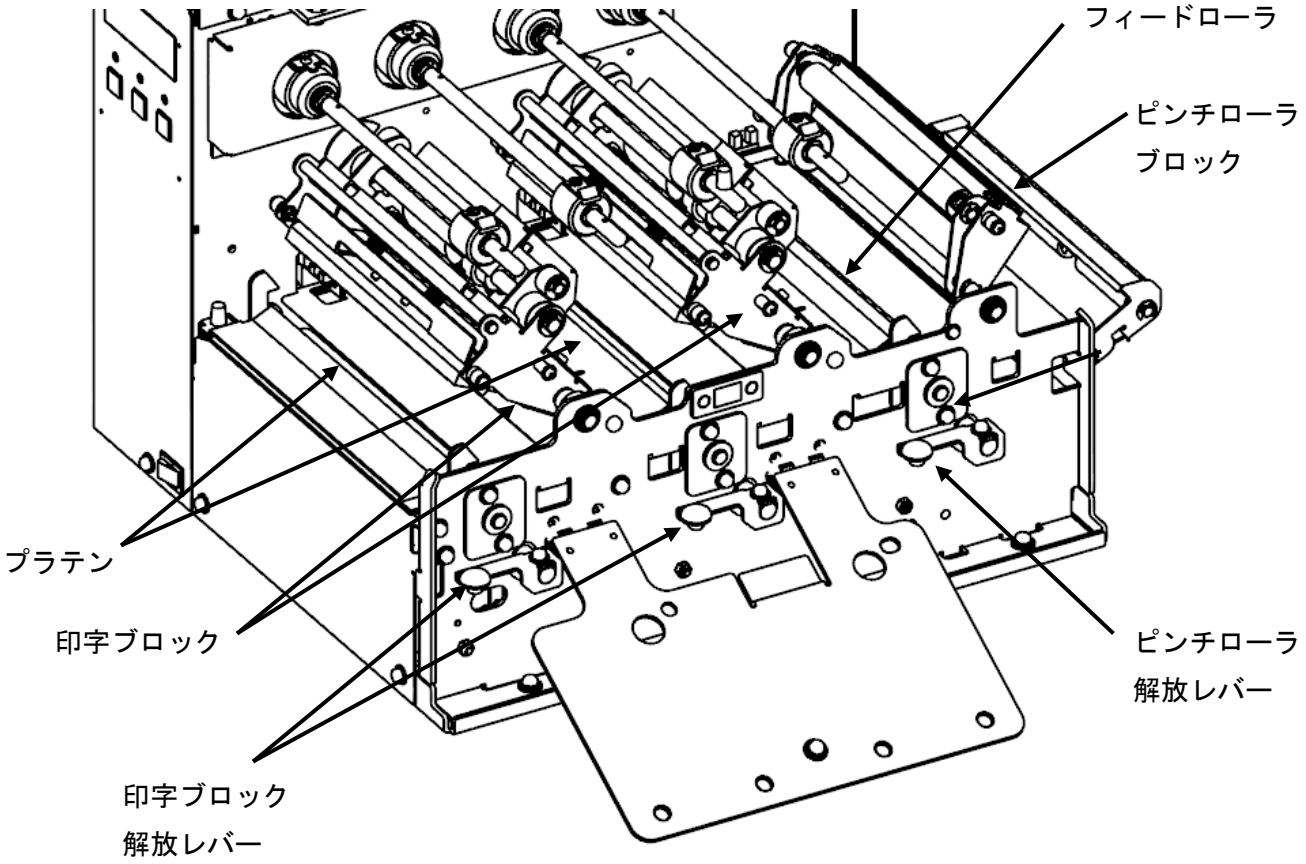
ロ）印字ブロックのサーマルヘッドの発熱体部を、クリーニングペンを軽く押し当て、
数回往復させ、クリーニングして下さい。

（印字ブロック１，２のサーマルヘッド）



１１－２）ラベル搬送部の清掃について

イ）印字ブロック開放レバー、および、ピンチローラ解放レバーを押下し、
印字ブロックとピンチローラブロックを解除してください。



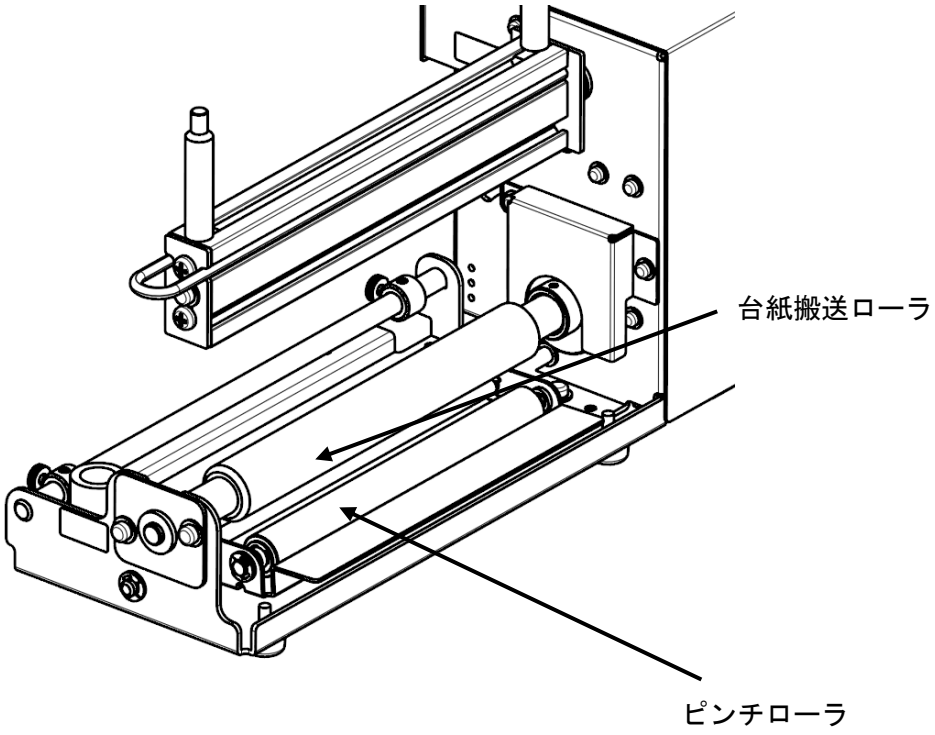
ロ）プラテン、フィードローラを、少量のプリンタ清掃液を含ませた柔らかい布で拭いて
下さい。

※クリーニングペンやクリーニングセットは、オプションです。
ご購入の際は、サポートセンター、販売店へお問い合わせ下さい。

１１－３）剥離タイプの清掃について

１１－３－１）剥離搬送ローラ、ピンチローラの清掃

台紙巻取りブロックの、台紙搬送ローラ、および、ピンチローラを、
定期的（ラベル交換ごと）に、少量のプリンタ清掃液を含ませた
柔らかい布で拭いてください。



１１．　困ったときは

１２－１）エラーメッセージとエラーブザーについて

プリンタに異常が発生した場合、液晶表示器にエラーメッセージが表示され、ＥＲＲＯＲ　ＬＥＤが点灯して、ブザーが３回鳴り、プリンタが停止します。

プリンタが停止した場合、エラー原因に対応する処置を施した後に「ＲＥＳＴＡＲＴ」キーを押下して、エラー解除を行って下さい。エラー解除後にラベル再発行指示を行って下さい。

また、プリンタが停止し、ＥＲＲＯＲ　ＬＥＤが点灯して、ブザーが連続して鳴っている場合は、電源オフし、エラー原因に対応する処置を施した後に電源オンして下さい。

	エラー表示	原因	処置
1	PAPER　JAM	ラベルがないか、又は正しくセットされていない（ジャムリなど）	ラベルを正しくセットして、搬送ブロックをロックして下さい。
2	PAPER　END	１）　ラベルが終了または、切れた場合 ２）　ラベルセンサーからラベルが外れた場合	１）ラベルを新しくセットして下さい。 ２）ラベルを正しくセットして下さい。
3	HEAD OPEN　1	印字ブロック１がオープン状態	印字ブロック１をロックして下さい。
4	HEAD OPEN　2	印字ブロック２がオープン状態	印字ブロック２をロックして下さい
5	ON　LINE　1*	リボン１の残量が少なくなった状態	新しいリボン１を装着して下さい。
6	ON　LINE　　2*	リボン２の残量が少なくなった状態	新しいリボン２を装着して下さい。
7	ON　LINE　1*　2*	リボン1,2の残量が少なくなった状態	新しいリボン１，２を装着して下さい。
8	RIBBON CUT　1	リボン１が切れている状態	リボン１を巻き直して装着して下さい。
9	RIBBON CUT　2	リボン２が切れている状態	リボン２を巻き直して装着して下さい。
10	RIBBON STOP 1	リボン１軸が回転しない状態	リボン軸がなにかに引っかかって回らないか確認して下さい。どうしても不明の場合はサービスセンターにご連絡下さい。
11	RIBBON STOP 2	リボン２軸が回転しない状態	
12	RIBBON SAVE 1	１）印字ブロック１のリボンセーブ機構の故障 ２）ラベルの先頭を誤検知し、リボンセーブに失敗した場合	１）ブザーが連続して鳴っている場合は、サービスセンターにご連絡下さい。 ２）８－１）センサー出力適正値を参考に、センサー出力調整ボリュームを調整して下さい。
13	RIBBON SAVE 2	１）印字ブロック２のリボンセーブ機構の故障 ２）ラベルの先頭を誤検知し、リボンセーブに失敗した場合	
14	FBLOCK OPEN	ピンチローラブロックがオープン状態	ピンチローラブロックをロックして下さい。

15	CUTTER ERROR	１） カッタ部でラベル詰まりが発生している ２） カッタ刃が所定の位置に戻っていない	１） カッタ部の掃除をしてください。 ２） 上記後でも表示した場合は、サービスセンターにご連絡下さい。
16	CUTTER OPEN	カッタの固定刃開放レバーがオープン状態	カッタの固定刃開放レバーをロックしてください
17	OVER HEAT 1	印字ブロック１のサーマルヘッドが オーバーヒート状態	電源をオフし、一定時間放置して、温度を下げて下さい。
18	OVER HEAT 2	印字ブロック２のサーマルヘッドが オーバーヒート状態	
19	OVER HEAT	プリンタ内の温度が許容範囲を超えた	
20	LAN COMM ERROR	ＬＡＮ通信にて障害が発生した状態	１） 電源オフ、オンして下さい。 ２） １）の後でも再度発生する場合は、通信環境を見直していただくか、サービスセンターにご連絡下さい。
21	DANSEN HEAD1	印字ブロック１のサーマルヘッドに断線があります。	サービスセンターにご連絡下さい。
22	DANSEN HEAD2	印字ブロック２のサーマルヘッドに断線があります。	

１２－２）正しく動作しない場合

１２－２－１）電源をいれてもディスプレイになにも表示されない場合

	確認して下さい	処置
１	電源コンセントに電源コードが差し込まれていますか？	電源コードをコンセントにしっかりと差込み直して下さい。
２	本プリンタに電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを本体の電源インレットにしっかりと差し込み直して下さい。
３	電源コードが傷んでいませんか？	電源コードを取り替えて下さい。 新しい電源コードは、本プリンタを購入された販売店で必ず本プリンタ専用の電源コードをお求めください。本プリンタの専用の電源コード以外は絶対に使用しないで下さい。
４	本プリンタの電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べて下さい。 もとの電源に問題のないときは、建物全体に電気がきているか調べて下さい。 停電の可能性も調べて下さい。
５	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取替え、ブレーカを電源オンの位置に直して下さい。

１２－２－２）　ラベルは送るけど印字されない場合

	確認して下さい	処置
1	印字ブロックのサーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていたりしていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたらクリーニングペンで汚れをふき取り、また、ラベルが貼りついていたらはがして下さい。 金属物での除去は避けて下さい。（印字ヘッドを傷つけるおそれがあります） このとき、ラベルの糊が付着していたら、クリーニングセットで拭き取って下さい。
2	本プリンタ用のサトー製品のラベル、リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。
3	ラベルセンサーが汚れていませんか？	ラベルセンサーが汚れていたら､クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい。
4	リボンが正しく巻き取られていますか？	リボンを正しく巻き直して下さい。

１２－２－３）　きれいに印字しない場合

	確認してください	処置
１	ラベル、リボンが正しくセットされていますか？	ラベル､リボンがきちんと固定されているか調べて下さい｡印字ブロック部をオープンにして､用紙､リボンが正しくセットされているか調べて正しくセットして下さい。
２	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直して下さい。
３	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら､クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい。
４	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていたりしていませんか？	印字ヘッドが汚れていたらクリーニングペンで汚れをふき取り､また､ラベルが貼りついていたら剥がして下さい。 金属物での除去は避けて下さい。（印字ヘッドを傷つけるおそれがあります） このとき、ラベルの糊が付着していたら、クリーニングセットで拭き取って下さい。
５	汚れたラベルを使っていませんか？	きれいなラベルを使って下さい。
６	本プリンタ用のサトー製品のラベル・リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。

１２－２－４）　印字位置がずれる場合

	確認して下さい	処置
1	ラベル、リボンが正しくセットされていますか？	ラベル、リボンがきちんと固定されているか調べて下さい。印字ブロック部をオープンにして、用紙、リボンが正しくセットされているか調べて正しくセットして下さい。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい。
3	型くずれしたラベル・リボンを使っていませんか？	ラベル・リボンの周囲が型くずれしているとラベル送りが正常にできません。型くずれしていないラベル・リボンを使って下さい。
4	本プリンタ用のサトー製品のラベル・リボンを使っていますか？	サトー製プリンタにはサトーのサプライ“純正”のご使用をお願いします。
5	ラベルセンサーが汚れていませんか？	ラベルセンサーが汚れていたら、クリーニングセットで汚れを拭き取って下さい。
6	印字位置補正値が正しいですか？	パソコン側の設定操作で印字位置補正を設定し直して下さい。
7	パソコンから送られてくるデータは正しいですか？	パソコン側のプリンタドライバのプロパティおよびデータを確認し、設定し直して下さい。

１２．　基本仕様

本機の仕様	内容
印刷方式	熱転写方式 2 色
印字ヘッド	エッジヘッド 2 本
印字密度	12dot/mm (305dpi)
印字速度	4 インチ (101.6mm) /秒、6 インチ (152.4mm) /秒、8 インチ (203.2mm) /秒
印字有効エリア	長さ　600mm　X　幅　160mm（センター合せ）
印字禁止領域	長さ方向　上：　1.5mm、下：1.5mm（台紙含まず） 幅方向　　左：　1.5mm、右：1.5mm（台紙含まず）
ラベルの種類／形態	サトー製品のラベル“純正”のご使用をお願いします。／ロール紙(外巻き)
ラベル厚	0.13mm ～ 0.18mm
ラベルサイズ	長さ　50～ 600mm　（台紙含み　53 ～ 603mm） 幅　　47mm ～ 177mm（台紙含み　50 ～ 180mm）
ロール紙外形／支管サイズ	ロール紙 ラベル外形　最大 210mm 紙管内径　　76.2mm
ラベル種類	認定ラベル４種類（Ａコート、Ｓコート、キャストコート、合成）
リボン種類	サトー製品のリボン“純正”のご使用をお願いします。
リボンサイズ／リボン形態／リボン巻き方向	リボン長：最大 300m（外径 65mm 以下） リボン幅：最大 167mm 巻き方向：表巻き 巻き取り方式：支管付（177mm 幅　内径 25.4mm 切り欠き付き支管）
発行モード	連続、カッター、剥離自動貼、剥離手動貼
外形寸法／重量	プリンタ本体　幅 363mm×奥行き 393mm×高さ 317mm／23.5kg ラベルホルダ接続時　幅 377mm×奥行き 685mm×高さ 317mm／28.5kg
電源仕様	入力電圧:AC100V～240V±10% 標準:100V(切替式) 消費電力:ピーク時　115W 待機時　　15W
環境条件	使用温度:５～３５℃ 湿度：３０～８０%ＲＨ（ただし、結露なきこと） 保存温度：－５～６０℃ 湿度：３０～９０%ＲＨ（ただし、結露なきこと）

インターフェース	ＵＳＢインターフェース ＬＡＮインターフェース ＥＸＴインターフェース（オプション）
オプション機器	カッタ仕様（工場オプション） ハクリ仕様（工場オプション） 外部巻取り装置（ＲＷＧ５００）接続キット
操作	ＬＣＤ：5 X 7 ドット　横 16 キャラクタ　縦 2 行 ＬＥＤ：ＰＯＷＥＲ（緑）、ＯＮＬＩＮＥ（緑）、ＥＲＲＯＲ（赤） キー　：FEED、RESTART、STOP
レベル調整	印字濃度調整、印字位置調整、停止位置調整（パソコンの設定ツールで調整）
ラベル長検出センサー	アイマークセンサ（反射タイプ）、ギャップセンサ（透過タイプ）
印字イメージ加工方式	ＧＤＩ方式　：　Windows ドライバ使用（Windows７　32bit/64bit）
自己診断機能	ヘッドオープン検出 ピンチローラオープン検出 リボン切れ検出 リボンニアエンド検出 カッタエラー ラベル詰まり検出 温度異常検出 サーマルヘッド断線検出

１３．アフターフォローについて

お買い上げいただきました　システム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。
保守サービス業務について、ご説明します。

＜サービスの種類一覧表＞

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に 基づき無償	保証規定に 基づき無償	保証規定に 基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より、５年とさせていただきます。（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページ　http://www.sato.co.jp/
でご確認ください。）

＜保守サービスの内容一覧表＞

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により 技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は、用紙を同梱した状態で、 機器故障ユニットを最寄のサポートセンター・ 販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して） いただいて、故障の修復にあたります。 輸送費はお客様負担となります。

＜保守サービスの説明＞

保証期間の保守サービス
　製品は１台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用していただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入より６か月間を保証期間として無償修理を行っております。
　サーマルヘッド、カッター、プラテンローラなどの消耗部品につきましては、弊社純正サプライ品での走行距離　30km　（カッターは 30 万回）または、納入より６か月間、の早い方が無償修理対応となります。

＜保守契約サービス＞

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

１．目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および、修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては１年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

２．保守契約料

保守契約料は、機器ごとに使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは１年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、4 年間まで継続して契約することができます。4 年を超える保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域は、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より、半径 80㎞ 以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約により保守契約を申し受けます。

なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

＜スポットサービス＞

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払くださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込
お支払いには、振込手続きが不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて
修理を依頼される場合は、機械またはカードなどに登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証はできません。）
特に預かり・持ち込み保守におきましては、お客様であらかじめ別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受取時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。